

名古屋東急ホテル 利用規則・宿泊約款
Rules on Use / Terms and Conditions of Accommodation Contract
NAGOYA TOKYU HOTEL
나고야 도큐 호텔 이용 규칙·숙박 약관
名古屋東急飯店 使用規則/住宿條款
名古屋東急酒店 使用規則/住宿條款

目次 Table Of Contents

利用規則	1
宿泊約款	5
Rules on Use	14
Terms and Conditions of Accommodation Contract	18
이용 규칙	28
숙박 약관	32
使用規則	41
住宿條款	44
使用規則	52
住宿條款	55

2024 年 6 月
June 2024

利用規則

当ホテルでは、お客様に安全かつ快適にお過ごしいただくために、宿泊約款第 13 条に基づき下記の通り利用規則を定めております。この利用規則をお守りいただけない場合は宿泊約款第 9 条により、宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げます。また、この利用規則をお守りいただけないことにより生じた事故については、お客様に損害のご負担をいただくことがございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

第 1 条 安全・保安事項

1. お部屋からの「避難経路図」は各客室ドア内側に表示してありますのでご確認ください。
2. お部屋への暖房用、炊事用等の火器及びその他火災の原因となる物品の持ち込みはご遠慮ください。
3. 指定された喫煙室・喫煙場所以外での喫煙は固くお断りをいたします。その他火災の原因になるような行為はなさらないでください。なお、禁煙客室内で喫煙（電子タバコ等含む）、及び吸い殻等の持ち込みが確認された場合は、寝具・カーテン・壁紙等のクリーニング費用その他補修等にかかる費用を請求させていただくこともございますのでご了承ください。
4. ぬれた衣類やタオル等を乾燥させるために照明器具にのせたりランプシェードにかけたりしますと火災の原因になります。大変危険ですので絶対におやめください。
5. ご滞在中、お部屋から出られるときは、必ず施錠をご確認ください。
6. 特にご就寝中は内鍵、および掛け金をおかけください。ドアをロックされても不用意に開扉せずドアスコープでご確認ください。万一、不審者と思われる場合はフロントまでご連絡ください。
7. バスタブへの湯張り中、または洗面台に水を溜める際、仮眠その他の事由により開栓を放置しますと湯や水があふれ、重大な漏水事故となりますのでご注意ください。
8. 外来のお客様と客室内でのご面会をご遠慮いただいております。
9. ご宿泊登録者以外の方のご宿泊は固くお断りいたします。
10. お車ご利用のお客様は所定の駐車場に駐車をお願いいたします。
11. 当ホテル利用客が駐車場を利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、車両の管理責任は、負わないものとします。

第 2 条 貴重品、遺失物のお取扱いについて

1. ご滞在中の現金、貴重品は室内金庫、またはフロントにお預けくださるようお願いいたします。室内金庫のご利用にあたっては、ご自身で扉の施錠設定をお願いいたします。上記手続きをおとりにならずに、現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については賠償いたしかねますのでご了承ください。

2. お客様のチェックアウト後、お客様の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合においては、発見した日を含め 7 日間当ホテルにて保管し、その後、最寄りの警察署へ届けます。但し、軽微な物（日常生活品等）等で、お客様がその所有を放棄したと認められるものについては、取得日を含め 3 ヶ月間保管の後に処分させていただきます。また、お忘れ物が食品や保管管理が困難な場合は、廃棄させていただく場合がございます。

第 3 条 お会計

1. 料金は通貨または当ホテルが認めた旅行小切手・宿泊券・クレジットカード等によりお支払いいただきます。また、ご宿泊者以外の両替には応じかねますのでご了承ください。
2. ご予定の宿泊日数を変更なさる場合は、予めフロント係員にご連絡ください。ご延長の場合はそれまでの費用や追加の予定明細のお支払いをお願いいたします。
3. ホテル内のレストラン、バーなどをご署名でご利用になる場合は必ず宿泊カードまたはルームキーをご提示ください。ご署名でのご利用はお断りする場合もでございます。
4. 到着時にお預かり金を申し受けることがございますのでご了承ください。また、ご滞在中、フロントからお勘定書の提示がございましたら、その都度フロントでのご精算をお願い申し上げます。
5. お買い物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物送料などのお立て替えはお断りさせていただきます。
6. 宿泊料および飲食料金には、サービス料が加算されている場合がございます。従業員への心づけはご辞退いたします。
7. お部屋からのお電話をご利用の際は、施設使用料が加算されます。

第 4 条 禁止事項

1. 以下の行為は禁止します。
 - (1) 次に掲げる、他のお客様の迷惑になるようなもののホテル内へのお持込。
 - ア 犬・猫・小鳥等の動物・ペット類全般（ただし、法で定める補助犬は除く、また当ホテルが別に定めるペット同伴宿泊同意書に基づき可能とする）
 - イ 発火または引火しやすい火薬や揮発油類および危険性のある製品
 - ウ 悪臭および強い匂いを発する物
 - エ 許可証のない鉄砲・刀剣類
 - オ 著しく多量のお荷物および物品
 - カ その他、他のお客様のご迷惑になる物品
 - キ その他法令で所持を禁じられているもの
 - (2) ホテル内での賭博や風紀・治安を乱すような行為、他のお客様に迷惑かける行為、不快感を与えるような行為。

- (3) ホテルの外観を損なうようなものをお部屋の窓にかける行為、窓側への陳列行為。
 - (4) 当ホテルに許可なく、お部屋やロビーでの営業行為などのご宿泊以外のご利用。
 - (5) ホテル内で許可なく広告・宣伝物の配布や物品の販売。
 - (6) ホテル内で施設・備品を所定の場所や用途以外で使用すること、現状を著しく損なうようなご利用。
 - (7) ホテル敷地内で撮影された写真等を許可なく営業上の目的で公になさる行為。
 - (8) 廊下やロビーへの所持品の放置。
 - (9) ナイトウェア・パジャマ・浴衣・スリッパ等で営業施設に出ること。
 - (10) 緊急事態、あるいはやむを得ない事情以外でのホテル従業員エリア・非常階段・屋上・搭屋・機械室等への立ち入り。
 - (11) ホテル外部からの飲食物の出前（但し、ホテルが提携した飲食店等は可）。
 - (12) ホテル建造物・家具・備品・その他物品の損傷・汚染、または紛失行為。
 - (13) ホテルの信用を傷つけ、またはホテルの不名誉となる内容の情報発信をされる行為。情報発信における投稿等が法令に違反し、当ホテルが不適切と判断した場合には了解なく削除の手続きをさせていただきます。また、第三者を誹謗中傷するような内容はしないようお願いいたします。
 - (14) 喫煙室、喫煙場所以外での喫煙（電子タバコ等含む）。
 - (15) その他法令で禁じられている行為。
2. 前項の禁止行為を行い、当ホテルに損害が生じた場合には、相当額を弁償していただくことがございます。

第 5 条 ホテル利用契約の解除

次に掲げる場合において、ご利用をご遠慮いただいております。

また、予約・契約を締結した後において、その事実が判明したときには、その時点で予約・契約を解除いたします。ただし、本項は、当ホテル(館)が旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) ホテル利用者が旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等であるとき
- (2) ホテル利用者に次の事由に該当する者がいる場合
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団(以下「暴力団」という)、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という)、暴力団関係企業・団体の関係者などの反社会勢力
 - ロ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体
 - ハ 法人でその役員に暴力団等の反社会勢力に該当する者があるもの
- (3) ホテル利用者が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき求めたとき（ただし、宿泊客が障害者差別解消法第 7 条第 2 項又は第 8 条 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）

- (4) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき

第 6 条 エコロジー活動

1. 資源を大切に使うため、節電・節水にご協力をお願いいたします。

第 7 条 個人情報

1. 当ホテルでは、お客様から提供される個人情報について、当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切にお取扱いいたします。

第 8 条 利用規則の変更

1. 本利用規則は、民法に定める定型約款に該当し、宿泊客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性及び相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本利用規則の各条項を変更いたします。
2. 本利用規則が変更した場合には、変更後の規定の内容をウェブサイトに掲載し、掲載の際定める効力発生日から変更後の内容が適用されます。なお、本利用規則を変更する場合には、変更内容等を適切な方法にて周知いたします。

宿泊約款

適用範囲

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ）又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする方は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名及び宿泊人数
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料金による。）
 - (4) a. 申込者名及びその連絡先
b. 宿泊料金の支払者及びその連絡先
 - (5) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして取扱いいたします。

宿泊契約の成立等

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超える時は3日間）の宿泊料金を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する期日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第8条又は第21条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第15条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

施設における感染防止対策への協力の求め

第4条 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律大138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

申込金の支払いを要しないこととする特約

第5条 第3条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

- 2 宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが第3条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱いいたします。

宿泊契約締結の拒否

第6条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められたとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下、「特定感染症の患者等」という）であるとき。
- (5) 宿泊しようとする者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という）、暴力団関係企業・団体の関係者などの反社会的勢力であるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
- (7) 宿泊しようとする者が法人で、その役員に暴力団等の反社会勢力に該当する者がいるとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき（ただし、宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成28年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）

- (9) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき
- (10) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (11) 宿泊しようとする者が泥酔など等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあるとき、及び宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき（都道府県（保健所を設置する市または特別区）にあっては、市又は特別区）の条例に基づく。

宿泊契約締結の拒否の説明

第7条 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊客の契約解除権

第8条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約を全部又は、一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であってその支払いにより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます）は、別表第2項に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第5条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ、到着予定時刻が明かされている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがございます。

当ホテルの契約解除権

第9条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがございます。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が特定感染症の患者であるとき。
- (3) 天災、施設の故障等、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

- (4) 宿泊客が泥酔などにより他の宿泊者に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。
あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (5) 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - (6) 指定された喫煙室・喫煙場以外で喫煙したとき。
 - (7) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - (8) 宿泊客が暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体の関係者などの、反社会的勢力と判明したとき。
 - (9) 宿泊客が暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
 - (10) 宿泊客が法人で、その役員に暴力団員に該当する者がいるとき。
 - (11) 宿泊客が、宿泊に関し威圧的もしくは暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を求めたとき（ただし、宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）
 - (12) その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として、旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません

宿泊契約解除の説明

第10条 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊の登録

- 第11条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を持たない外国人にあつては、国籍、旅券番号、
(パスポートのコピーまたはスキャナーによる複写)
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第15条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

客室の使用時間

第 12 条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、フロントにご確認ください。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次の掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過午後 3 時までは、基本宿泊料金の 30%
 - (2) 午後 6 時までは、基本宿泊料金の 50%
 - (3) 午後 6 時以降は、基本宿泊料金の 100%

利用規則の遵守

第 13 条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが別に定める利用規則に従っていただきます。

営業時間

第 14 条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間はウェブサイト、各所等でご案内いたします。

- (1) フロント、キャッシャー等サービス時間
 - イ) 門限……………なし
 - ロ) フロントサービス……………24 時間
- 2 飲食等（施設）サービス時間：ウェブサイト、各所でご案内いたします。
- 3 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更する事があります。その場合には、適切な方法をもってお知らせいたします。

料金の支払い

第 15 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により宿泊客の到着もしくは出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当ホテルの責任

- 第 16 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度としてその損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2 当ホテルは万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

- 第 17 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限りの同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものといたします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料をもって損害賠償額とさせていただきます。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき理由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

- 第 18 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は、現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き当ホテルは、その損害を賠償いたします。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償いたします。
- 2 宿泊客が、当ホテルにお持込みになった物品又は、現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償いたします。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- 第 19 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しいたします。
- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合においては、発見した日を含め 7 日間当ホテルにて保管し、その後、最寄りの

警察署へ届けます。但し、軽微な物（日常生活品等）等で、お客様がその所有を放棄したと認められるものについては、取得日を含め 3 ヶ月間保管の後に処分させていただきます。また、お忘れ物が食品や保管管理が困難な場合は、廃棄させていただくことがございます。

- 3 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものといたします。

駐車場の責任

第 20 条 宿泊客が当ホテルの駐車場又は、契約駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに応じます。

宿泊客の責任

第 21 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

個人情報

第 22 条 当ホテルでは、お客様から提供される個人情報について、当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切にお取り扱いいたします。

約款の変更

- 第 23 条 本約款は、民法に定める定型約款に該当し、宿泊客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性及び相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本約款の各条項を変更いたします。
- 2 本約款が変更された場合には、変更後の規定の内容をウェブサイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものとします。尚、本約款を変更する場合には、変更内容等を記載した適切な方法にて周知いたします。
 - 3 本約款が変更される以前に予約し、その宿泊日が約款変更日以降である場合、宿泊日時点の約款に基づくものとします。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項及び第 15 条第 1 項関係）

内訳		
宿泊者が払うべき総額	宿泊料金	1.基本宿泊料金
		2.サービス料（設定がある場合）
	追加料金	3.飲食料（サービス料を除く） 及びその他料金
		4.ルームサービス（提供がある場合）
		5.サービス料（設定がある場合）
	税金	6.消費税等

別表第 2 違約金（第 8 条第 2 項関係）

予約申込人数		契約解除通知を受けた日						
		当日 (不泊含む)	前日	2 日前	3 日前	7 日前	14 日前	1 ヶ月前
一 般	9 名まで	100%	15 時以降 100%	0%				
団 体	10～60 名まで	100%		50%		20%	0%	
	61 名以上	100%		80%		50%	20%	

注

1. %は、予約時の宿泊料金（サービス料、消費税等を含む）に対する違約金の比率です。
2. 宿泊パッケージ等、別途違約金を設定している場合は、その公示額を違約金として収受します。
3. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分（初日）の違約金を収受いたします。
4. 団体客（10 名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前（その日より後に 申し込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の 10%（端数が出た場合には切り上げる）にあたる人数については、違約金はいただきません。
5. 各旅行会社からのお申し込みのキャンセルにつきましては、お申し込みいただきました旅行会社の規定に準じる事といたします。

2024 年 6 月

2024年6月 下記につき改定をいたしました。

- ・特定感染症 感染防止対策に係る協力の要請（宿泊約款 第4条）
- ・過度なサービスの要求による宿泊契約締結拒否・契約解除（宿泊約款 第6条・第9条）
- ・宿泊契約締結の拒否・宿泊契約解除の説明（宿泊約款 第7条・第10条）

Rules on Use

This hotel has set out the following rules on use based on Article 13 of the Terms and Conditions of Accommodation Contract in order to ensure that you can spend your time at the Hotel safely and comfortably. If these rules on use are not observed, under Article 9 of the Terms and Conditions of Accommodation Contract, you will not be allowed to lodge in the Hotel or use the facilities of the Hotel. In addition, please be aware that you may be liable for damages if an accident occurs due to your failure to follow these rules.

Article 1 Safety and Security Matters

1. Please confirm the emergency escape routes on the map that is posted on the door inside each room.
2. Please refrain from bringing your own heating or cooking devices or other items that may cause a fire into the room.
3. Smoking is strictly prohibited except in designated smoking rooms and smoking areas. Please do not engage in any other acts that may cause a fire. Please note that if smoking (including electronic cigarettes, etc.) or cigarette butts, etc. are confirmed in the non-smoking rooms, cleaning expenses for bedding, curtains, wallpaper, etc. and other expenses for repair, etc. may be charged.
4. If wet clothes or towels are placed on lighting equipment or lampshades to dry them, it may cause a fire. Please do not do this because it is very dangerous.
5. Please make sure to lock the door when you leave your room during your stay.
6. Please lock the door and secure the inside chain, particularly when you sleep. Should there be a knock at the door, check to see who it is by using the peephole before opening the door. If you think it is a suspicious person, please call the front desk.
7. When filling the bathtub or sink, take care not to doze off and inadvertently let the tub overflow and cause a serious water leakage.
8. Please refrain from meeting any visitor in the guest room.
9. We strictly prohibit persons other than registered guests.
10. Please park your car in the designated parking lot.
11. When any Hotel guest uses the parking lot, we will not be liable for the custody of the car, regardless of whether the car key has been deposited with us.

Article 2 Handling of Valuables and Lost Articles

1. Please leave your cash and valuables in the room safe or at the front desk during your stay. When using the in-room safe, please set the lock to the door by yourself. Please note that we will not compensate for any loss, damage or theft of cash or valuables when the above procedures are not followed.

2. If your hand baggage or belongings have been left behind at the Hotel after your check-out, they will be kept at the Hotel for seven (7) days from the day they are found (inclusive), and then delivered to the nearest police station. However, minor items (daily necessities, etc.) that are considered to have been abandoned by the customer will be disposed of after they are stored for three (3) months from the date they are found (inclusive). In addition, we may dispose of items left behind if they are food items or items that are difficult to store or manage.

Article 3 Payment

1. Charges shall be paid in Japanese currency or by traveler's checks, hotel vouchers, credit card, etc. approved by the Hotel. Additionally, please note that we cannot exchange money for persons other than guests.
2. If you would like to change the number of days you plan to stay, please contact the front desk staff in advance. If you would like to extend your stay, please pay for the previous charges and the charges for your additional stay.
3. Please show your registration card or room key when you charge a bill for a restaurant or bar, etc. in the Hotel to your account. We may refuse to allow you to charge a bill to your account with only your signature.
4. Please note that we may ask for a deposit upon arrival. Additionally, if the front desk staff present a bill during your stay, please pay it at the front desk each time.
5. We will not make payment on your behalf for shopping, tickets, taxis, postage, or freight charges.
6. Service charge may be included in the room charges and food and beverage charges. Therefore, giving tips to our staff is not necessary.
7. When you use the phone from your room, a facility charge will be added to your bill.

Article 4 Prohibited Matters

1. The following acts are prohibited.
 - (1) Bringing any of the following items that might disturb other guests in the hotel.
 - a) Animals and pets, including dogs, cats and birds (except assistance dogs as required by law, and pets permitted by the Agreement on Accommodation with Pets as separately provided by the Hotel).
 - b) Ignitable or flammable gunpowder, volatile oils and dangerous products.
 - c) Anything that gives off an offensive or strong odor.
 - d) Unlicensed firearms and swords.
 - e) Extremely large volumes of baggage and articles.
 - f) Any other items that might disturb other guests.
 - g) Other belongings prohibited by laws and regulations.
 - (2) Gambling, acts that disturb public morals or order, acts that cause a nuisance or discomfort to other guests within the Hotel.

- (3) Hanging things on the window of the room that would ruin the appearance of the Hotel, or displaying them by the window.
 - (4) Using the Hotel for purposes other than lodging, e.g., conducting sales activities in your room or the lobby without permission from the Hotel.
 - (5) Distribution of advertisements and promotional materials and sale of goods in the Hotel without permission.
 - (6) Using facilities and equipment in the Hotel in places and for purposes other than those specified, and using such facilities and equipment in a manner that significantly impairs their current condition.
 - (7) Disclosing photos, etc. taken on the Hotel premises to the public for business purposes without permission.
 - (8) Leaving belongings unattended in hallways and the lobby.
 - (9) Entering the business facilities of the Hotel wearing night wear, pajamas, yukata or slippers.
 - (10) Entering areas for the Hotel employees, the emergency staircase, roof, penthouse, machine room, etc., except when unavoidable or in cases of emergency.
 - (11) Ordering food and beverages for delivery from outside of the Hotel (however, restaurants affiliated with the Hotel are acceptable).
 - (12) Damaging, contaminating, or causing loss to the Hotel buildings, furniture, equipment, or other hotel items.
 - (13) Damaging the reputation of the Hotel or transmitting information that may dishonor the Hotel. If posting information violates laws and regulations and the Hotel judges it inappropriate, the Hotel will delete the information without consent. In addition, please do not write anything that will defame a third party.
 - (14) Smoking in areas other than smoking rooms and smoking areas (including electronic cigarettes, etc.).
 - (15) Other acts prohibited by laws and regulations.
2. In the event of damage caused to the Hotel as a result of any of the prohibited acts described in the preceding paragraph, the Hotel may request that you compensate the Hotel for the actual amount of the damage.

Article 5 Cancellation of Accommodation Contract

Please refrain from using the Hotel in the following cases.

Moreover, if such fact is found after the conclusion of the reservation/contract, the reservation/contract shall be cancelled at that time. However, this paragraph shall not mean that the Hotel may refuse your stay at the Hotel for other reasons not listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) The user of the Hotel is a patient of a specified infectious disease, as stipulated in Paragraph 1, Item (2) of Article 4-2 of the Hotel Business Act.

- (2) When the user of the Hotel falls under any of the following categories:
 - a) Antisocial forces, such as an organized crime group listed under Article 2, Item (2) of the Act on Prevention of Unfair Acts by Organized Crime Group Members (Act 77, 1991) (hereinafter referred to as an "Organized Crime Group"), a member of such a group under Article 2, Item (6) of the same Act (hereinafter referred to as "Organized Crime Group Member"), or an individual related to a company or a group connected to an Organized Crime Group.
 - b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an Organized Crime Group or an Organized Crime Group Member.
 - c) A corporation that has any officer who falls under the category of Antisocial Forces, such as an Organized Crime Group.
- (3) The user of the Hotel makes coercive or violent demands, or demands an unreasonable burden in connection with an accommodation (provided, however, that this shall not apply if the guest requests removal of a social barrier in accordance with Paragraph 2 of Article 7 or Paragraph 2 of Article 8 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities.).
- (4) The user of the Hotel repeats carrying out an act listed under the provisions of Articles 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act in the form of a request to the Hotel for which the burden involved in the implementation thereof is too onerous and which may significantly impede the provision of accommodation services to other guests.

Article 6 Environmental Conservation Activities

1. In order to conserve resources, we ask for your cooperation in saving electricity and water.

Article 7 Personal Information

1. The Hotel will appropriately handle the personal information you provide, in accordance with the Privacy Policy of the Hotel.

Article 8 Change to Rules on Use

1. These Rules on Use fall under the standard terms and conditions set forth in the Civil Code, and the provisions of these Rules on Use will be changed in accordance with the provisions of the Civil Code when it conforms to the general interests of guests, or when it is considered necessary or reasonable to change them.
2. If these Rules on Use are changed, the changed provisions will be posted on the website and the changed provisions will apply from the effective date specified at the time of posting. When these Rules on Use are changed, we will publish the details of such change in an appropriate manner.

Terms and Conditions of Accommodation Contract

Article 1 Scope of Application

1. The Accommodation Contract and related agreements to be concluded between the Hotel and the Guest shall be subject to these Terms and Conditions, and matters not provided herein shall be governed by laws and regulations (laws and regulations or those based on laws and regulations; the same shall apply hereinafter) or generally accepted practices.
2. If the Hotel has entered into special agreements with the Guest, insofar as such special agreements do not contradict laws and regulations and generally accepted practices, the special agreements shall prevail, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph.

Article 2 Application for Accommodation Contract

1. A Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following information.
 - (1) Name and number of Guests
 - (2) Date of stay and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation Charges (As a general rule, the Basic Accommodation Charges set forth in Schedule 1 will apply.)
 - (4) a. Applicant's name and contact information
b. Payer of the Accommodation Charges and the contact information
 - (5) Other matters considered necessary by the Hotel
2. If, during the stay, the Guest requests to extend his/her stay beyond the date specified in item (2) of the preceding paragraph, the Hotel shall treat such request as an application for a new Accommodation Contract made at the time of his/her request.

Article 3 Conclusion of Accommodation Contract, etc.

1. An Accommodation Contract shall be concluded when the Hotel has accepted the application set forth in the preceding article.
2. When an Accommodation Contract is concluded pursuant to the provision of the preceding paragraph, by the due date designated by the Hotel, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Hotel, which shall not exceed the Accommodation Charges covering the entire length of his/her stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days).
3. The deposit shall be used: first, for the Accommodation Charges finally payable by the Guest; second, for cancellation charges under Article 8; and third, for compensation under Article 21, as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 15.

4. If the Guest fails to pay the deposit set forth in Paragraph 2 by the date specified by the Hotel in accordance with the provisions of the same paragraph, the Accommodation Contract shall cease to be effective. Provided, however, that the same shall apply only when the Hotel has notified the Guest to that effect in designating the due date of the deposit.

Article 4 Request for cooperation in infection prevention measures in facilities

The Hotel may request the cooperation of a Guest seeking accommodation at the Hotel, in accordance with the provisions of Paragraph 1 of Article 4-2 of the Hotel Business Act (Act No. 138, 1948).

Article 5 Special Contract Requiring No Accommodation Deposit

1. Notwithstanding the provision of Paragraph 2 of Article 3, the Hotel may enter into a special contract requiring no payment of the accommodation deposit stipulated in the same paragraph after the conclusion of the contract.
2. If the Hotel does not request payment of the accommodation deposit prescribed in Paragraph 2 of Article 3 or does not designate the due date of said deposit at the time of accepting the application for an Accommodation Contract, it shall constitute the fact that the Hotel has agreed to the special contract prescribed in the preceding paragraph.

Article 6 Refusal of Accommodation Contract

The Hotel may refuse to conclude an Accommodation Contract in any of the following cases. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse your stay at the Hotel for other reasons not listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) The application for accommodation does not conform to these Terms and Conditions.
- (2) The Hotel is fully booked and there is no vacancy.
- (3) A Guest seeking accommodation is considered liable to conduct himself/herself in a manner that violates laws and regulations, or to engage in acts against public order or good morals in regard to his/her accommodation.
- (4) A Guest seeking accommodation is a patient etc. with a specified infectious disease prescribed in Paragraph 1, Item (2) of Article 4-2, of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "Patients etc. with Specified Infectious Diseases").
- (5) A Guest seeking accommodation is an antisocial force, such as an organized crime group specified in Paragraph 2 of Article 2 of the Act on Prevention of Unfair Acts by Organized Crime Group Members (Act 77, 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Group"), a member of an organized crime group specified in Paragraph 6 of Article 2 of the same Act (hereinafter referred to as "Organized Crime Group Member", or an individual related to a company or a group connected to an organized crime group.

- (6) A Guest seeking accommodation is a corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member.
- (7) A Guest seeking accommodation is a corporation that has any officer who falls under the category of Antisocial Forces, such as an organized crime group.
- (8) A Guest seeking accommodation makes coercive or violent demands, or places an unreasonable burden on the Hotel in connection with the accommodation (provided, however, that this shall not apply to cases where the Guest seeking accommodation requests the removal of a social barrier in accordance with Paragraph 2 of Article 7 or Paragraph 2 of Article 8 of Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65, 2016. Hereinafter referred to as the " Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities")
- (9) The Guest seeking accommodation carries out acts listed under the provisions of Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act in the form of a request to the Hotel for which the burden involved in the implementation thereof is onerous and which may significantly impede the provision of accommodation services to other guests.
- (10) The Hotel is unable to provide accommodation due to natural disaster, facility failure, or other unavoidable causes.
- (11) The Guest seeking accommodation is heavily intoxicated and is likely to be a nuisance to other guests, or uses speech or conduct that is a nuisance to other guests (in accordance with prefectural rules (or of a city or a special ward in the case of a city or a special ward having established a health center)).

Article 7 Explanation of Refusal to Execute Accommodation Contract

A Guest seeking accommodation may request that the Hotel explain the reason(s) for a refusal by the Hotel to enter into an Accommodation Contract pursuant to the preceding article.

Article 8 Guest's Right to Cancel Accommodation Contract

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
2. If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to reasons attributable to the Guest (except when the Hotel has requested payment of the deposit by designating the due date in accordance with the provisions of Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled the Accommodation Contract before making such payment), the Hotel shall impose a cancellation charge as set forth in Schedule 2. However, when the Hotel has agreed to a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 5, this shall apply only when the Hotel has notified the Guest of its obligation to pay cancellation charges in the event the Guest cancels the Accommodation Contract.

3. The Hotel may deem the Guest to have cancelled the Accommodation Contract when he/she does not arrive by 08:00 p.m. (if the estimated time of arrival is known in advance, the time that is two hours after that time) on the day of his/her stay without an advance notice to the Hotel.

Article 9 Hotel's Right to Cancel Accommodation Contract

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract in any of the following cases. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those stipulated in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) The Guest is considered liable to conduct himself/herself in a manner that violates laws and regulations, or to engage in acts against public order or good morals in regard to his/her accommodation, or is considered to have conducted himself/herself in such manner or engaged in such acts.
- (2) The Guest is Patients etc. with Specified Infectious Diseases.
- (3) The Hotel is unable to provide accommodation due to natural disaster, facility failure, or other unavoidable causes.
- (4) It is considered that the Guest is likely to affect other guests due to being heavily intoxicated, etc. Or the Guest is behaving in such a way as to be a nuisance to other guests.
- (5) The Guest fails to observe prohibited matters specified in the Rules on Use prescribed by the Hotel.
- (6) The Guest smokes in areas other than designated smoking rooms or smoking areas.
- (7) The Guest does not refrain from prohibited actions, such as smoking in bed, vandalism of fire-fighting equipment and other prohibited matters stipulated in the Rules on Use prescribed by the Hotel (limited to those necessary for fire prevention).
- (8) The Guest is found to be an antisocial force, such as an organized crime group, a member of an organized crime group, an individual related to a company or a group connected to an organized crime group.
- (9) The Guest is a corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or an organized crime group member.
- (10) The Guest is a corporation that has any officer who falls under the category of an organized crime group member.
- (11) The Guest makes coercive violent demands, or demands an unreasonable burden in connection with the accommodation (provided, however, that this shall not apply if the Guest requests removal of a social barrier in accordance with Paragraph 2 of Article 7 or Paragraph 2 of Article 8 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities.).

- (12) The user of the Hotel carries out an act listed under the provisions of Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act in the form of a request to the Hotel for which the burden involved in the implementation thereof is onerous and which may significantly impede the provision of accommodation services to other guests.
2. When the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any services he/she has yet to receive.

Article 10 Explanation of Termination of Accommodation Contract

The Guest may request the Hotel to explain the reason(s) when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract pursuant to the preceding article.

Article 11 Registration

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of his/her stay.
 - (1) Name, address and contact information of the Guest(s).
 - (2) Nationality and passport number (copy of passport or scanned copy) in the case of foreigners with no address in Japan.
 - (3) Other matters considered necessary by the Hotel
2. When the Guest intends to pay his/her accommodation charges prescribed in Article 15 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, hotel vouchers or credit card, such means shall be presented in advance at the time of registration prescribed in the preceding paragraph.

Article 12 Occupancy Hours of Guest Rooms

1. Please check with the front desk for the hours that the Guest can use the room of the Hotel.
2. Notwithstanding the provision of the preceding paragraph, the Hotel may permit the Guest to occupy the guest room outside the hours set forth in the same paragraph. In such case, the following extra charges shall apply.
 - (1) 30% of the rate of departure until 3:00 p.m.
 - (2) 50% of the rate of departure until 6:00 p.m.
 - (3) 100% of the rate of departure after 6:00 p.m.

Article 13 Compliance with Rules on Use

The Guest shall observe the Rules on Use separately set forth by the Hotel within the premises of the Hotel.

Article 14 Business hours

1. The business hours of the Hotel's main facilities, etc. shall be as follows, and the details of the business hours of other facilities, etc. shall be provided on the website and notices displayed in each facility, etc.
 - (1) Service hours at the front desk, cashier, etc.
 - a) Curfew: Not applicable
 - b) Front desk services: 24 hours
2. Service hours for food and beverages (facilities): Information will be provided on the website and at each facility.
3. The hours set forth in the preceding paragraph may be changed temporarily if necessary and unavoidable. In such case, we will notify you in an appropriate manner.

Article 15 Payment of Accommodation Charges

1. The breakdown of the Accommodation Charges, etc. to be paid by the Guest is as shown in Schedule 1.
2. Payment of the Accommodation Charges, etc. under the preceding paragraph shall be made at the front desk at the time of the Guest's arrival or departure or upon request by the Hotel, in Japanese currency or by other means permitted by the Hotel, such as traveler's checks, hotel vouchers or credit card.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest does not stay after the Hotel has furnished and made available his/her accommodation.

Article 16 Responsibility of the Hotel

1. The Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 150,000 yen for damage caused to the Guest in the course of, or due to default under, the Accommodation Contract and related contracts, except where the damage has been caused due to the Hotel's intentional act or gross negligence. However, the same shall not apply when such damage has been caused for reasons not attributable to the Hotel.
2. The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance to deal with a possible fire.

Article 17 Handling When Unable to Provide Contracted Room

1. If the Hotel is unable to provide the Guest with the contracted guest room, the Hotel shall, upon obtaining the consent of the Guest, arrange for another hotel under the same conditions as much as possible.
2. Notwithstanding the provision of the preceding paragraph, if the Hotel is unable to introduce another hotel, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be treated as compensation for damage. However, when the Hotel cannot provide the guest room due to reasons not attributable to the Hotel, the Hotel will not pay the compensation fee.

Article 18 Handling of Deposited Articles, etc.

1. The Hotel shall compensate the Guest for loss, damage, etc. in respect of items, cash or valuables deposited by the Guest at the front desk, except when such loss, damage, etc. is due to force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 150,000 yen.
2. The Hotel shall compensate the Guest for loss, damage, etc. caused due to the Hotel's intentional act or negligence with respect to items, cash or valuables brought into the Hotel by the Guest but not deposited at the front desk. However, for articles whose nature and value have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 150,000 yen, except in the case of damage caused due to the Hotel's intentional act or gross negligence.

Article 19 Custody of Baggage and Belongings of Guest

1. When the baggage of the Guest arrives at the Hotel prior to his/her stay, the Hotel shall store it responsibly only when the Hotel has agreed to the same prior to its arrival and shall hand it over to the Guest at the front desk at the time of check-in.
2. If the hand baggage or belongings of the Guest have been left behind at the Hotel after check-out, they will be kept at the Hotel for seven (7) days from the day they are found (inclusive), and then delivered to the nearest police station. However, minor items (daily necessities, etc.) that are considered to have been abandoned by the customer will be disposed of after they are stored for three (3) months from the date they are found (inclusive). In addition, we may dispose of items left behind if they are food items or items that are difficult to store or manage.
3. The Hotel's liability for the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be in accordance with the provision of Paragraph 1 of the preceding article in the case of Paragraph 1, and in accordance with the provision of Paragraph 2 of the same article in the case of Paragraph 2.

Article 20 Responsibility for Parking

When the Guest uses the parking lot of the Hotel or the contracted parking lot, the Hotel shall lend a space and shall not be liable for the custody of the car, regardless of whether the car key has been deposited with the Hotel. However, the Hotel shall be liable for any damage caused due to the Hotel's intentional act or negligence in the management of the parking lot.

Article 21 Liability of the Guest

The Guest shall compensate the Hotel for damage caused to the Hotel due to the Guest's intentional act or negligence.

Article22 Personal Information

The Hotel will appropriately handle the personal information you provide, in accordance with the Privacy Policy of the Hotel.

Article 23 Change to these Terms and Conditions

1. These Terms and Conditions fall under the standard terms and conditions set forth in the Civil Code, and the provisions of these Terms and Conditions will be changed in accordance with the provisions of the Civil Code when it conforms to the general interests of guests, or when it is considered necessary or reasonable to change them.
2. If these Terms and Conditions are changed, the changed provisions will be posted on the website and the changed provisions will apply from the effective date specified at the time of posting. When these Terms and Conditions are changed, we will publish the details of such change in an appropriate manner.
3. If the Guest makes a reservation before the change of these Terms and Conditions and the date of accommodation falls on or after the date of the change of these Terms and Conditions, the Terms and Conditions as of the date of the accommodation shall apply.

Attachment

Schedule 1: Breakdown of Accommodation Charges, etc.

(related to Article 2, Paragraph 1 and Article 15, Paragraph 1)

Breakdown		
Total Amount to be Paid by the Guest	Accommodation charges	1. Basic accommodation charge
		2. Service charge (when applicable)
	Extra charges	3. Food and beverages (excluding room service) and other usage fees
		4. Room service (when applicable.)
		5. Service charge (when applicable)
	Taxes	6. Consumption tax and Other taxes

Schedule 2 : Cancellation Charge (related to Article 8, Paragraph 2)

		Date of notice of cancellation						
Contracted number of guest		day of arrival (Including No show)	1 day prior to arrival	2 days prior to arrival	3 days prior to arrival	7 days prior to arrival	14 days prior to arrival	1 month prior to arrival
Individual	Up to 9	100%	After 3:00 pm: 100%	0%				
Group	10 to 60	100%	50%		20%	0%		
	61 or more	100%	80%		50%	20%		

[Note]

1. The percentages signify the rate of the cancellation charge to the room charge at the time of reservation (including service charge and taxes).
2. In case of cancellation of an accommodation package, for which a separate penalty fee has been set, the cancellation charge will be calculated based on the displayed amount.
3. When the number of days contracted is shortened, a cancellation charge for one (1) day (the first day) shall be collected, regardless of the number of days by which the stay is shortened.
4. In the event of cancellation of the contract with respect to a portion of a group of guests (10 people or more), no cancellation charges will be charged for the number of guests equivalent to 10% of the number of guests staying, if the cancellation request is received 10 days prior to the date of the stay (if the request is received after that date, the date of acceptance of the request) (any fraction shall be rounded up).
5. In case of cancellation of a reservation through travel agents, the cancellation charge rule will be equivalent to agent regulations.

June 2024

June 2024 Due to the revision of Hotel Business of Act of Japan, the following items have been added or changed.

- Article 4 Request for cooperation in infection prevention measures in facilities
- Article 6 Refusal of Accommodation Contract
- Article 7 Explanation of Refusal to Execute Accommodation Contract
- Article 9 Hotel's Right to Cancel Accommodation Contract
- Article 10 Explanation of Termination of Accommodation Contract

이용 규칙

당 호텔에서는 고객이 안전하고 쾌적하게 지내실 수 있도록 숙박 약관 제 13 조에 근거하여 아래와 같이 이용 규칙을 정하고 있습니다. 이 이용 규칙을 지키시지 못하는 경우에는 숙박 약관 제 9 조에 따라 숙박 또는 호텔 내 제반 시설의 이용을 거절합니다. 또한 이 이용 규칙을 지키지 않으셔서 발생한 사고에 대해서는 고객이 손해를 부담하셔야 하는 경우가 있으므로 특별히 유의해 주시기 바랍니다.

제 1 조 안전·보안 사항

1. 객실에서의 「대피 경로도」는 각 객실 문 안쪽에 표시되어 있으므로 확인하여 주십시오.
2. 객실에 난방용, 취사용 등의 화기 및 기타 화재의 원인이 되는 물품의 반입은 삼가주십시오.
3. 지정된 흡연실·흡연장소 이외에서의 흡연은 엄금합니다. 기타 화재의 원인이 될 우려가 있는 행위는 삼가 주십시오. 또한 금연 객실 내에서 흡연(전자담배 등을 포함) 및 담배꽂초 등의 반입이 확인된 경우에는 침구, 커튼, 벽지 등의 클리닝 비용 및 기타 보수 등에 드는 비용을 청구할 수도 있으므로 양해하여 주시기 바랍니다.
4. 젖은 의류나 수건 등을 건조시키기 위해 조명기구나 램프 갓 등에 올려 놓으면 화재의 원인이 됩니다. 매우 위험하므로 절대로 하지 마십시오.
5. 숙박 중에 객실에서 나가실 때는 반드시 잠금 상태를 확인하여 주십시오.
6. 특히 취침 중에는 안쪽 자물쇠 및 걸쇠를 걸어 주십시오. 문을 노크해도 부주의하게 문을 열지 마시고 도어 스코프로 확인하여 주십시오. 만일 수상한 사람이라고 생각되는 경우에는 프런트로 연락하여 주십시오.
7. 욕조에 물을 채우거나 또는 세면대에 물을 채울 때, 선잠 및 기타 이유로 인해 마개 여는 것을 잊어버리면 물이 넘쳐 흘러 중대한 누수 사고가 발생하므로 주의하여 주십시오.
8. 외래 고객과 객실 내에서 면회하는 행위는 삼가 주십시오.
9. 숙박 등록자 이외의 분의 숙박은 엄금하고 있습니다.
10. 자동차 이용 고객께서는 소정의 주차장에 주차하여 주십시오.
11. 당 호텔 이용객이 주차장을 이용하시는 경우, 자동차 키 기탁 여부와 관계없이 차량의 관리 책임은 지지 않는 것으로 합니다.

제 2 조 귀중품, 분실물의 취급에 관하여

1. 체류 중 현금, 귀중품은 객실 내 금고 또는 프런트에 맡겨 주시기 바랍니다.
객실 내 금고 이용 시에는 직접 문의 잠금 설정을 부탁 드립니다. 위의 절차를 밟지 않고 현금, 귀중품의 멸실, 분실, 훼손 및 도난 등으로 인해 발생한 손해에 대해서는 배상하지 않으므로 양해하여 주시기 바랍니다.
2. 고객의 체크아웃 후, 고객의 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에서 발견된 경우에는 발견한 날을 포함하여 7일간 당 호텔에 보관하고, 그 후 가장 가까운 경찰서에 맡깁니다. 단, 경미한 물건(일상생활용품 등) 등으로 고객이 그 소유를 포기했다고 여겨지는 물건에 대해서는 취득일을 포함하여 3개월간 보관한 후 처분합니다. 또한 분실물이 식품 및 보관 관리가 어려운 경우 폐기하는 경우가 있습니다.

제 3 조 결제

1. 요금은 통화 또는 당 호텔이 인정한 여행자수표, 숙박권, 신용카드 등으로 결제하여 주십시오. 또한, 숙박객 이외의 환전에는 대응하지 않으므로 양해하여 주시기 바랍니다.
2. 예정된 숙박 일수를 변경하실 경우에는 사전에 프런트 직원에게 연락해 주시기 바랍니다. 연장하실 경우에는 그 때까지의 비용과 추가 예정 명세의 결제를 부탁드립니다.
3. 호텔 내 레스토랑, 바 등을 서명으로 이용하실 경우에는 반드시 숙박카드 또는 룸키를 제시하여 주십시오. 서명에 의한 이용은 거절하는 경우도 있습니다.
4. 도착 시 예치금을 요청하는 경우가 있음을 양해하여 주시기 바랍니다. 또한 체류 중, 프런트가 계산서를 제시하면 그 때마다 프런트에서 정산해 주시기 바랍니다.
5. 물건 구입 요금, 티켓 요금, 택시 요금, 우표 요금, 수하물 배송료 등의 대체 지급은 하지 않습니다.
6. 숙박료 및 음식요금에는 서비스료가 가산되어 있는 경우가 있습니다. 종업원에 대한 팁이나 선물은 받지 않습니다.
7. 객실에서 전화를 이용하실 때는 시설 사용료가 가산됩니다.

제 4 조 금지 사항

1. 아래의 행위는 금지합니다.
(1)다음에 게재되는 다른 고객에게 불편을 끼칠 우려가 있는 것의 호텔 내 반입.
가. 애완동물·애완묘·작은새 등의 동물·반려동물류 전반(단, 법으로 정해진 도우미견은 제외하며, 또한 당 호텔이 별도로 정한 반려동물 동반 숙박 동의서에 근거하여 가능한 것으로 한다)

- 나. 발화 또는 인화하기 쉬운 화약이나 휘발유류 및 위험성이 있는 제품
 - 다. 악취 및 강한 냄새를 풍기는 것
 - 라. 허가증이 없는 총포·도검류
 - 마. 현저히 많은 양의 화물 및 물품
 - 바. 그 밖에 다른 고객님께 불편을 끼치는 물품
 - 사. 그 밖에 법령으로 소지가 금지되어 있는 것
- (2) 호텔 내에서의 도박이나 풍기·치안을 어지럽히는 행위, 다른 고객에게 불편을 끼치는 행위, 불쾌감을 주는 듯한 행위.
- (3) 호텔 외관을 손상시키는 것을 객실 창문에 거는 행위, 창가에 진열하는 행위.
- (4) 당 호텔의 허가를 받지 않고 객실이나 로비에서 영업 행위를 하는 등, 숙박 이외의 이용.
- (5) 호텔 내에서 허가 없이 광고·선전물을 배포하거나, 물품을 판매하는 행위.
- (6) 호텔 내에서 시설·비품을 소정의 장소 및 용도 이외로 사용하는 행위, 현상태를 현저하게 훼손시키는 이용.
- (7) 호텔 부지 내에서 촬영된 사진 등을 허가 없이 영업 상의 목적으로 공개하는 행위.
- (8) 복도나 로비에 소지품을 방치하는 행위.
- (9) 나이트웨어, 잠옷, 유카타, 슬리퍼 등의 차림으로 영업시설에 출입하는 행위.
- (10) 긴급사태, 혹은 부득이한 사정이 발생한 경우 이외에 호텔 종업원 구역, 비상 계단, 옥상, 옥탑, 기계실 등에 출입하는 행위.
- (11) 호텔 외부로부터의 음식 배달(단, 호텔과 제휴한 음식점 등은 가능).
- (12) 호텔 건조물, 가구, 비품 및 기타 물품의 손상, 오염 또는 분실 행위.
- (13) 호텔의 신용을 훼손시키거나 또는 호텔의 불명예가 되는 내용의 정보를 발신하는 행위.
정보 발신 시의 투고 등이 법령을 위반하여 당 호텔이 부적절하다고 판단한 경우에는 양해 없이 삭제 절차를 밟습니다. 또한 제 3 자를 비방 중상하는 내용은 발신하지 말아 주십시오.
- (14) 흡연실, 흡연 장소 이외에서 흡연하는 행위(전자담배 등을 포함).
- (15) 그 밖에 법령으로 금지되어 있는 행위.
2. 전 항의 금지 행위를 하여 당 호텔에 손해가 발생한 경우에는 상당액을 변상하셔야 하는 경우가 있습니다.

제 5 조 호텔 이용 계약의 해지

다음에 기재하는 사항에 해당되는 경우에는 이용을 거절하고 있습니다.

또한 예약·계약을 체결한 후에 그 사실이 판명되었을 때는 그 시점에서 예약·계약을 해지합니다. 단, 본 항목은 당 호텔(관)이 여관업법 제 5 조에 기재된 경우 이외의 경우에 숙박을 거절할 수 있음을 의미하는 것은 아닙니다.

- (1) 호텔 이용자가 여관업법 제 4 조의 2 제 1 항 제 2 호에 규정되는 특정 감염증 환자 등인 경우

- (2) 호텔 이용자 중에 다음 사유에 해당하는 사람이 있는 경우
- 가. 폭력단원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률(1991년 법률 제 77호) 제 2조 제 2호에 규정된 폭력단(이하 「폭력단」이라 한다), 동조 제 2조 제 6호에 규정된 폭력단원(이하 「폭력단원」이라 한다), 폭력단 관계 기업·단체의 관계자 등의 반사회 세력
 - 나. 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체
 - 다. 법인이며, 그 임원 중에 폭력단 등의 반사회 세력에 해당하는 사람이 있는 경우
- (3) 호텔 이용자가 숙박에 관해 위압적 또는 폭력적 요구 행위를 하거나 합리적인 범위를 뛰어넘는 부담을 요구한 경우(단, 숙박객이 장애인 차별해소법 제 7조 제 2항 또는 제 8조 제 2항의 규정에 의한 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우는 제외한다.)
- (4) 숙박객이 당 호텔에 대해서 그 실시에 따른 부담이 과중하여 다른 숙박객에 대한 숙박에 관한 서비스 제공을 현저하게 저해할 우려가 있는 요구로서, 여관업법 시행규칙 제 5조의 6에서 정해진 것을 반복한 경우

제 6 조 에콜로지 활동

1. 자원을 소중하게 사용하기 위해 절전·절수에 협조 부탁드립니다.

제 7 조 개인정보

1. 당 호텔에서는 고객으로부터 제공 받은 개인정보에 관해서 당 호텔의 개인정보보호정책에 따라 적절하게 취급합니다.

제 8 조 이용 규칙의 변경

1. 본 이용 규칙은 민법에서 정한 정형 약관에 해당하며, 숙박객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정되는 경우에는 민법의 규정에 근거하여 본 이용 규칙의 각 조항을 변경하겠습니다.
2. 본 이용 규칙이 변경된 경우에는 변경 후의 규정 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 규정하는 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용됩니다. 또한 본 이용 규칙을 변경할 경우에는 변경 내용 등을 적절한 방법으로 주지합니다.

숙박 약관

적용 범위

제 1 조 당 호텔이 숙박객과 체결하는 숙박 계약 및 이와 관련되는 계약은 본 약관의 규정에 따르는 것으로 하며, 본 약관에 규정되지 않은 사항에 대해서는 법령 등(법령 또는 법령에 근거하는 것을 말한다. 이하 동일) 또는 일반적으로 확립된 관습에 따르는 것으로 합니다.

2 당 호텔이 법령 및 관습에 반하지 않는 범위 내에서 특약에 응했을 때는 전 항의 규정에 관계 없이 그 특약이 우선하는 것으로 합니다.

숙박 계약 신청

제 2 조 당 호텔에 숙박 계약 신청을 하고자 하는 분은 다음 사항을 당 호텔에 신청하여 주십시오.

- (1) 숙박객 성명 및 숙박 인원수
- (2) 숙박일 및 도착 예정 시각
- (3) 숙박요금(원칙적으로 별표 제 1 의 기본 숙박요금에 의한다.)
- (4) a. 신청자 성명 및 그 연락처
b. 숙박요금 결제자 및 그 연락처
- (5) 기타 당 호텔이 필요하다고 인정하는 사항

2 숙박객이 숙박 중에 전 항 제 2 호의 숙박일을 초과하여 숙박 계속을 신청한 경우, 당 호텔은 그 신청이 이루어진 시점에서 새로운 숙박 계약의 신청이 있었던 것으로 취급합니다.

숙박 계약의 성립 등

제 3 조 숙박 계약은 당 호텔이 전 조의 신청을 승낙했을 때 성립되는 것으로 합니다.

2 전 항의 규정에 따라 숙박 계약이 성립되었을 때는 숙박 기간(3 일을 초과할 때는 3 일간)의 숙박요금을 한도로 당 호텔이 정하는 신청금을 당 호텔이 지정하는 기일까지 지불하셔야 합니다.

3 신청금은 먼저 숙박객이 최종적으로 지불해야 하는 숙박요금에 충당되고, 제 8 조 또는 제 21 조의 규정을 적용하는 사태가 발생했을 때는 위약금에 이어 배상금의 순서로 충당되며, 잔액이 있으면 제 15 조의 규정에 의한 요금 지불 시에 반환합니다.

4 제 2 항의 신청금을 동 항의 규정에 따라 당 호텔이 지정한 날까지 지불하지 못하는 경우, 숙박 계약은 그 효력을 상실하는 것으로 합니다. 단, 신청금 지불 기일을 지정하고 당 호텔이 그 사실을 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.

시설 내의 감염 방지 대책에 대한 협력의 부탁

제 4 조 당 호텔은 숙박하려는 사람에 대해서 여관업법(1948년 법률 제 138호) 제 4 조의 2 제 1 항의 규정에 따른 협력을 요구할 수 있습니다.

신청금 지불이 필요하지 않은 특약

제 5 조 제 3 조 제 2 항의 규정에 관계 없이 당 호텔은 계약 성립 후, 동 항의 신청금 지불을 필요로 하지 않는 특약에 응하는 경우가 있습니다.

2 숙박 계약 신청을 승낙함에 있어 당 호텔이 제 3 조 제 2 항의 신청금 지불을 요구하지 않는 경우 및 해당 신청금의 지불 기일을 지정하지 않는 경우에는 전 항의 특약에 응한 것으로 취급합니다.

숙박 계약 체결의 거부

제 6 조 당 호텔은 다음에 기재하는 사항에 해당되는 경우, 숙박 계약의 체결에 응하지 않는 경우가 있습니다. 단, 본 항은 당 호텔이 여관업법 제 5 조에 기재된 경우 이외의 경우에 숙박을 거절할 수 있음을 의미하는 것은 아닙니다.

- (1) 숙박 신청이 이 약관에 따르지 않는 경우.
- (2) 만실로 인해 객실에 여유가 없는 경우.
- (3) 숙박하려는 사람이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서 혹은 선량한 풍속 기타 사회질서를 위반할 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우.
- (4) 숙박하려는 사람이 여관업법 제 4 조의 2 제 1 항 제 2 호에 규정된 특정 감염증 환자 등(이하, 「특정 감염증 환자 등」이라 한다)인 경우.
- (5) 숙박하려는 사람이 「폭력단원에 의한 부당한 행위 방지 등에 관한 법률」(1991년 법률 제 77호) 제 2 조 제 2 호에 규정된 폭력단(이하 「폭력단」이라 한다), 동 조 제 2 조 제 6 호에 규정된 폭력단원(이하 「폭력단원」이라 한다), 폭력단 관련 기업·단체의 관계자 등의 반사회적 세력인 경우.
- (6) 숙박하려는 사람이 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우.
- (7) 숙박하려는 사람이 법인이며, 그 임원 중에 폭력단 등의 반사회 세력에 해당하는 사람이 있는 경우.
- (8) 숙박하려는 사람이 숙박에 관해 위압적 또는 폭력적인 요구 행위를 하거나 합리적인 범위를 뛰어넘는 부담을 요구한 경우(단, 숙박하려는 사람이 장애를 이유로 하는 차별 해소 추진에 관한 법률(2016년 법률 제 65호. 이하 「장애인 차별해소법」이라 한다.) 제 7 조 제 2 항 또는 제 8 조 제 2 항의 규정에 의한 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우는 제외한다.)

- (9) 숙박하려는 사람이 당 호텔에 대해서 그 실시에 따른 부담이 과중하여 다른 숙박객에 대한 숙박에 관한 서비스 제공을 현저하게 저해할 우려가 있는 요구로서, 여관업법 시행규칙 제 5 조의 6 에서 정해진 것을 반복한 경우
- (10) 천재지변, 시설의 고장 및 기타 부득이한 사유로 인해 숙박시킬 수 없는 경우.
- (11) 숙박하려는 사람이 만취 등으로 다른 숙박객에게 현저하게 불편을 끼칠 우려가 있는 경우 및 숙박객에게 현저하게 불편을 끼칠 우려가 있는 언동을 한 경우(도도부현(보건소가 설치된 시 또는 특별구인 경우에는 시 또는 특별구)의 조례에 근거한다).

숙박 계약 체결 거부에 관한 설명

제 7 조 숙박하려는 사람은 당 호텔에 대해서 당 호텔이 전 조에 근거하여 숙박 계약 체결에 응하지 않는 경우 그 이유에 대한 설명을 요구할 수 있습니다.

숙박객의 계약 해지권

제 8 조 숙박객은 당 호텔에 신청하여 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.

- 2 당 호텔은 숙박객의 귀책사유로 인하여 숙박 계약을 전부 또는 일부 해지한 경우(제 3 조 제 2 항의 규정에 따라 당 호텔이 신청금의 지불 기일을 지정하고 그 지불을 요구한 경우로, 해당 지불 전에 숙박객이 숙박 계약을 해지한 경우는 제외)에는 별표 제 2 항에서 정하는 바에 따라 위약금을 수령합니다. 단, 당 호텔이 제 5 조 제 1 항의 특약에 응한 경우에는 그 특약에 응함에 있어서 숙박객이 숙박 계약을 해지했을 때의 위약금 지불 의무에 관하여 당 호텔이 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.
- 3 당 호텔은 숙박객이 연락 없이 숙박 당일 오후 8 시(사전에 도착 예정 시각이 밝혀진 경우에는 그 시각을 2 시간 경과한 시각)가 되어도 도착하지 않을 때는 해당 숙박 계약은 숙박객에 의해 해지된 것으로 간주하여 처리되는 경우가 있습니다.

당 호텔의 계약 해지권

제 9 조 당 호텔은 다음에 게재하는 사항에 해당되는 경우 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.

단, 본 항은 당 호텔이 여관업법 제 5 조에 게재된 경우 이외의 경우에 숙박을 거절할 수 있음을 의미하는 것은 아닙니다.

- (1) 숙박객이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공질서 혹은 선량한 풍속 기타 사회질서를 위반할 행위를 할 우려가 있다고 인정되는 경우 또는 동 행위를 했다고 인정되는 경우.

- (2) 숙박객이 특정 감염증 환자인 경우.
 - (3) 천재지변, 시설의 고장 등 및 기타 부득이한 사유로 인해 숙박시킬 수 없는 경우.
 - (4) 숙박객이 만취 등으로 다른 숙박객에게 영향을 미칠 우려가 있다고 인정되는 경우.
혹은 숙박객이 다른 숙박객에게 현저하게 불편을 끼치는 언동을 한 경우.
 - (5) 당 호텔이 정하는 이용 규칙의 금지사항을 따르지 않은 경우.
 - (6) 지정된 흡연실·흡연장 이외에서 흡연한 경우.
 - (7) 침실에서 침대에 누워 담배를 피는 행위, 소방용 설비 등에 대한 장난 및 기타 당 호텔이 정한 이용 규칙의 금지사항(화재 예방 상 필요한 것에 한함.)을 따르지 않은 경우.
 - (8) 숙박객이 폭력단, 폭력단원, 폭력단 관련 기업·단체의 관계자 등의 반사회적 세력이라고 판명된 경우.
 - (9) 숙박객이 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 및 기타 단체인 경우.
 - (10) 숙박객이 법인이며, 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 사람이 있는 경우.
 - (11) 숙박객이 숙박에 관해 위압적 또는 폭력적인 요구 행위를 하거나 합리적인 범위를 뛰어넘는 부담을 요구한 경우(단, 숙박객이 장애인 차별해소법 제 7 조 제 2 항 또는 제 8 조 제 2 항의 규정에 의한 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우는 제외한다.)
 - (12) 그 실시에 따른 부담이 과중하여 다른 숙박객에 대한 숙박에 관한 서비스 제공을 현저하게 저해할 우려가 있는 요구로서, 여관업법 시행규칙 제 5 조의 6 에서 정해진 것을 반복한 경우
2. 당 호텔이 전 항의 규정에 근거하여 숙박 계약을 해지한 경우에는 숙박객이 아직 제공 받지 않은 숙박 서비스 등의 요금은 받지 않습니다

숙박 계약 해지에 관한 설명

제 10 조 숙박객은 당 호텔에 대해서 당 호텔이 전 조에 근거하여 숙박 계약을 해지한 경우, 그 이유에 대한 설명을 요구할 수 있습니다.

숙박의 등록

제 11 조 숙박객은 숙박일 당일, 당 호텔의 프론트에서 다음 사항을 등록하셔야 합니다.

- (1) 숙박객의 성명, 주소 및 연락처
 - (2) 일본 국내에 주소가 없는 외국인인 경우에는 국적, 여권번호,
(여권 복사 또는 스캐너로 복사)
 - (3) 기타 당 호텔이 필요하다고 판단하는 사항
- 2 숙박객이 제 15 조의 요금 지불을 여행자수표, 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신할 수 있는 방법으로 지불하려는 경우, 사전에 전 항 등록 시에 그것을 제시하여 주십시오.

객실의 사용시간

제 12 조 숙박객이 당 호텔의 객실을 사용할 수 있는 시간은 프런트에서 확인하여 주십시오.

2 당 호텔은 전 항의 규정에 관계 없이 동 항에서 정하는 시간 외의 객실 사용에 응하는 경우가 있습니다. 그 경우에는 다음과 같은 추가 요금을 수령합니다.

- (1) 오후 12 시 이후부터 오후 3 시까지는 숙박요금의 30%
- (2) 오후 3 시 이후부터 오후 6 시까지는 숙박요금의 50%
- (3) 오후 6 시 이후에는 숙박요금의 전액

이용 규칙의 준수

제 13 조 숙박객은 당 호텔 내에서는 당 호텔이 별도로 정하는 이용 규칙에 따르셔야 합니다.

영업시간

제 14 조 당 호텔의 주요 시설 등의 영업시간은 다음과 같으며, 기타 시설 등의 자세한 영업시간은 웹사이트, 각 장소 등에서 안내해 드립니다.

- (1) 프런트, 캐셔 등 서비스 시간
 - 가) 통금시간.....없음
 - 나) 프런트 서비스.....24 시간
- 2 음식 등(시설) 서비스 시간: 웹사이트, 각 장소에서 안내해 드립니다.
- 3 전 항의 시간은 부득이한 경우에는 임시로 변경하는 경우가 있습니다. 그 경우에는 적절한 방법으로 알려 드립니다.

요금의 지불

제 15 조 숙박객이 지불해야 하는 숙박요금 등의 내역은 별표 제 1 에 게재된 바에 따릅니다.

- 2 전 항의 숙박요금 등의 지불은 통화 또는 당 호텔이 인정한 여행자수표, 숙박권, 신용카드 등 통화를 대신할 수 있는 방법으로 숙박객의 도착 혹은 출발 시 또는 당 호텔이 청구했을 때 프런트에서 지불하셔야 합니다.
- 3 당 호텔이 숙박객에게 객실을 제공하여 사용이 가능해진 후 숙박객이 숙박하지 않은 경우에도 숙박요금은 수령합니다.

당 호텔의 책임

제 16 조 당 호텔은 숙박 계약 및 이에 관한 계약의 이행 시에 또는 불이행으로 인해 숙박객에게 손해를 입혔을 때는 당 호텔에 고의 또는 중대한 과실이 있는 경우를 제외하고, 15 만엔을 한도로 그 손해를 배상합니다. 단, 그것이 당 호텔의 귀책 사유가 아닌 경우에는 예외로 합니다.

2 당 호텔은 만일의 화재 등에 대처하기 위해 여관배상책임보험에 가입하고 있습니다.

계약한 객실을 제공할 수 없는 경우의 취급

제 17 조 당 호텔은 숙박객에게 계약된 객실을 제공할 수 없을 때는 숙박객의 양해를 구하고 최대한 동일한 조건에 의한 다른 숙박 시설을 알선하는 것으로 합니다.

2 당 호텔은 전 항의 규정에도 불구하고 다른 숙박시설을 알선할 수 없을 때는 위약금 상당액의 보상료를 숙박객에게 지불하고, 그 보상료를 손해배상액으로 합니다. 단, 객실을 제공하지 못하는 것이 당 호텔의 귀책 사유가 아닌 경우에는 보상료를 지불하지 않습니다.

기탁물 등의 취급

제 18 조 숙박객이 프런트에 맡긴 물품 또는 현금 및 귀중품에 대해서 멸실, 훼손 등의 손해가 발생한 경우에는 그것이 불가항력인 경우를 제외하고, 당 호텔은 그 손해를 배상합니다. 단, 현금 및 귀중품에 관해서는 당 호텔이 그 종류 및 가격의 명시를 요구하였지만 숙박객이 이를 실시하지 않았을 때는 당 호텔은 15 만엔을 한도로 그 손해를 배상합니다.

2 숙박객이 당 호텔에 가지고 오신 물품 또는 현금 및 귀중품 중에 프런트에 맡기지 않은 것에 대해서 당 호텔의 고의 또는 과실로 인해 멸실, 훼손 등의 손해가 발생했을 때는 당 호텔은 그 손해를 배상합니다. 단, 숙박객으로부터 사전에 종류 및 가격의 명시가 없었던 것에 대해서는 당 호텔에 고의 또는 중대한 과실이 있는 경우를 제외하고, 15 만엔을 한도로 당 호텔은 그 손해를 배상합니다.

숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관

제 19 조 숙박객의 수하물이 숙박 전에 당 호텔에 도착한 경우에는 수하물 도착 전에 당 호텔이 알고 있었던 경우에 한하여 책임지고 보관하며, 숙박객이 프런트에 체크인할 때 건네드립니다.

- 2 숙박객이 체크아웃 후, 숙박객의 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에서 발견된 경우에는 발견한 날을 포함하여 7일간 당 호텔에 보관하고, 그 후 가장 가까운 경찰서에 맡깁니다. 단, 경미한 물건(일상생활용품 등) 등으로 고객이 소유를 포기했다고 여겨지는 물건에 대해서는 취득일을 포함하여 3개월간 보관한 후 처분합니다. 또한 분실물이 식품 및 보관 관리가 어려운 경우 폐기하는 경우가 있습니다.
- 3 전 2항의 경우에 숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관에 대한 당 호텔의 책임은 제 1항의 경우에는 전 조 제 1항의 규정에, 전 항의 경우에는 동 조 제 2항의 규정에 준하는 것으로 하겠습니다.

주차의 책임

제 20 조 숙박객이 당 호텔의 주차장 또는 계약 주차장을 이용하시는 경우, 자동차 키 기탁 여부와 관계 없이 당 호텔은 장소를 빌려줄 뿐, 차량의 관리 책임까지 지지 않습니다. 단, 주차장 관리 시에 당 호텔의 고의 또는 과실로 인해 손해를 입었을 때는 그 배상 책임에 응합니다.

숙박객의 책임

제 21 조 숙박객의 고의 또는 과실로 인해 당 호텔이 손해를 입었을 때는 해당 숙박객은 당 호텔에 대해서 그 손해를 배상하셔야 합니다.

개인정보

제 22 조 당 호텔에서는 고객으로부터 제공 받은 개인정보에 관해서 당 호텔의 개인정보보호정책에 따라 적절하게 취급합니다.

약관의 변경

제 23 조 본 약관은 민법에서 정한 정형 약관에 해당하며, 숙박객의 일반적인 이익에 적합한 경우 또는 변경의 필요성 및 상당성이 있다고 인정되는 경우에는 민법의 규정에 근거하여 본 약관의 각 조항을 변경하겠습니다.

- 2 본 약관이 변경된 경우에는 변경 후의 규정 내용을 웹사이트에 게재하고, 게재 시에 규정하는 효력 발생일부터 변경 후의 내용이 적용됩니다. 또한 본 약관을 변경할 경우에는 변경 내용 등을 기재한 적절한 방법으로 주지하겠습니다.
- 3 이 약관이 변경되기 이전에 예약하고 그 숙박일이 약관 변경일 이후인 경우, 숙박일 시점의 약관에 따르는 것으로 합니다.

별표 제 1 숙박요금 등의 내역(제 2조 제 1항 및 제 15조 제 1항 관계)

내역		
숙박객이 지불해야 하는 총액	숙박요금	1. 기본 숙박요금
		2. 서비스료(설정된 경우)
	추가요금	3. 음식료(서비스료는 제외) 및 기타 요금
		4. 룸서비스(제공한 경우)
		5. 서비스료(설정된 경우)
	세금	6. 부가세 등

별표 제 2 위약금(제 8조 제 2항 관계)

예약 신청 인원수		계약 해지 통지를 받은 날						
		당일 (미박 포함)	전일	2일 전	3일 전	7일 전	14일 전	1개월 전
일반	9명까지	100%	15시 이후 100%	0%				
단체	10~60명까지	100%		50%			20%	0%
	61명 이상	100%		80%			50%	20%

주

1. %는 예약 시의 숙박요금(서비스료, 부가세 등을 포함)에 대한 위약금의 비율입니다.
2. 숙박 패키지 등, 별도 위약금이 설정된 경우에는 그 공시액을 위약금으로 수령합니다.
3. 계약일수가 단축된 경우에는 그 단축일수에 관계 없이 1일치(첫날)의 위약금을 수령합니다.
4. 단체 고객(10명 이상)의 일부에 대해서 계약을 해지하는 경우, 숙박 10일 전(그 날보다 이후에 신청을 접수한 경우에는 그 접수한 날)의 숙박 인원수의 10%(끝수가 나온 경우에는 버린다)에 해당하는 인원수에 대해서는 위약금은 받지 않습니다.
5. 각 여행사로부터의 신청 취소에 관해서는 신청한 여행사의 규정에 준하는 것으로 합니다.

2024 년 6 월 여관업법의 개정에 따라, 다음 사항이 추가·변경됩니다.

- 시설 내의 감염 방지 대책에 대한 협력의 부탁
- 숙박 계약 체결의 거부
- 숙박 계약 체결 거부에 관한 설명
- 당 호텔의 계약 해지권
- 숙박 계약 해지에 관한 설명

使用規則

本飯店為了讓旅客有安全舒適的住宿體驗，根據住宿條款第 13 條規定，制定以下使用規則。未遵守這些使用規則時，依據住宿條款第 9 條規定，將無法入住或使用飯店內部各項設施。此外，未遵守這些使用規則造成的任何事故，可能需由旅客自行承擔責任，敬請特別留意。

第 1 條 安全／保安事項

1. 各間客房門內均有張貼「疏散路線圖」，請在房內確認。
2. 請勿將暖氣或炊具等燃具、及其他可能引起火災的物品帶進客房。
3. 嚴禁在指定吸菸室和吸菸區域以外的地方吸菸，請勿做出任何其他可能引起火災的行為。另外，如果被發現在禁菸客房內吸菸（包括電子菸等）或將菸蒂等帶進房內時，可能會向您收取寢具、窗簾、壁紙等的清潔費及其他維修費用，敬請惠予理解。
4. 將溼衣服或毛巾等放在照明設備上或掛在燈罩上晾乾，可能會引起火災。此舉非常危險，請切勿做出這類行為。
5. 入住期間當離開客房時，請務必鎖門。
6. 尤其是就寢時，請從門內上鎖並掛上鎖鏈。即使有人敲門也避免隨意開門，請先透過門上的防盜眼查看。如果您認為是可疑份子時，請聯絡櫃台人員。
7. 請注意，注入熱水至浴缸或是以洗臉台蓄水時，如果因小睡等原因將水龍頭打開放置不管，熱水或冷水可能會溢出，造成嚴重的漏水事故。
8. 請勿在客房內與外來的訪客會面。
9. 嚴禁登記住宿旅客以外的人士入住。
10. 開車前來的旅客，請將車輛停放在指定的停車場。
11. 本飯店的旅客使用停車場時，無論是否有寄放車輛鑰匙，本飯店均不負擔車輛管理責任。

第 2 條 貴重物品與遺失物品的處理

1. 入住期間內，請將現金及貴重物品放在客房保險箱或櫃台。
使用客房保險箱時，請自行將箱門上鎖。請注意，未遵守上述程序時，因現金或貴重物品滅失、遺失、損壞、失竊等所造成的任何損失，本飯店恕不負擔賠償責任。
2. 房客退房後行李或個人物品遺忘在飯店時，本飯店在保管 7 天（包括發現當日在內）之後，將移交至最近的警察局。但關於小件物品（日常生活用品之類）等，可判斷為旅客已放棄其所有權的部分，將在保管 3 個月後（包括取得當日在內）進行處理。此外，遺忘的物品是食物或難以儲存的物品時，可能會直接丟棄。

第 3 條 結帳

1. 住宿費用必須以貨幣或本飯店認可的旅遊支票、住宿券、信用卡等方式支付。另外，恕不受理非住宿房客兌換貨幣的要求，敬請惠予理解。

2. 如需更改入住天數，請事先聯絡櫃台人員。要延長住宿時間時，請先付清先前的費用，並支付預計延長的部分。
3. 在本飯店內的餐廳、酒吧等場所以簽名方式記帳時，請務必出示住宿卡或房間鑰匙。本飯店也有可能拒絕使用簽名方式記帳。
4. 本飯店可能會在旅客抵達時要求先支付押金，敬請惠予理解。另外，入住期間內，請在每次收到櫃台的帳單時，先到櫃台付款。
5. 恕不受理代墊購物費、門票費、計程車費、郵票費、行李運送費等要求。
6. 住宿和餐飲費用可能會加計服務費。本飯店不接受房客向員工支付小費。
7. 在客房使用電話時，將收取設施使用費。

第 4 條 禁止事項

1. 禁止下列行為。
 - (1) 攜帶下列可能對其他旅客造成困擾的物品進入飯店。
 - a. 狗、貓、小鳥等各種動物及寵物（但法律規定的協助犬除外，根據本飯店另行規定的寵物陪伴住宿同意書則可入住）
 - b. 容易起火或引火的火藥、揮發油以及危險物品
 - c. 散發難聞氣味或強烈氣味的物品
 - d. 未經許可持有的槍砲和刀械類
 - e. 明顯大量的行李及物品
 - f. 可能造成其他旅客困擾的物品
 - g. 其他受到法律禁止持有的物品
 - (2) 在飯店內賭博、擾亂社會風氣或治安的行為、造成其他住宿旅客困擾或不適的行為。
 - (3) 在客房窗戶上懸掛或在窗邊展示任何有損飯店外觀的物品之行為。
 - (4) 未經本飯店許可，將客房或大廳用於商務活動等住宿以外的目的。
 - (5) 未經許可可在本飯店內發布廣告、宣傳品或銷售商品。
 - (6) 將飯店內的設施、備品用於規定目的以外的用途，或是嚴重損害現有的狀態。
 - (7) 基於商業目的，公開展示在飯店場地內未經許可拍攝的照片。
 - (8) 將個人物品留在走廊或大廳。
 - (9) 穿著室內便衣、睡衣、浴衣、拖鞋等進入營業設施。
 - (10) 除了緊急情況或不得已的情況以外，禁止進入飯店員工區、緊急樓梯、屋頂、塔樓、機房等區域。
 - (11) 禁止從飯店外部點購餐飲外送至飯店（飯店合作的餐廳除外）。
 - (12) 損壞、汙染或遺失飯店建築物、家具、備品或其他物品的行為。
 - (13) 散播損害飯店信譽或使飯店聲譽受損的資訊內容之行為。如果散播訊息的貼文等違反法令，本飯店認為不適當時，將逕行採取刪除措施。另外，請勿散播可能誹謗中傷第三方的內容。
 - (14) 在吸菸室、吸菸區以外的區域吸菸（包括電子煙等）。
 - (15) 其他受到法律禁止的行為。
2. 前項規定的禁止行為對本飯店造成損害時，可能需要支付相對的費用。

第 5 條 飯店使用契約的解除

下列情況請勿使用本服務。

此外，預訂或簽訂契約後發現符合這些情況時，將取消預訂或解除契約。但是，本項並非表示本飯店（本館）可能會在旅館業法第 5 條所列情況以外的情形之下，拒絕旅客入住。

- (1) 使用飯店者是患有旅館業法第 4 條之 2 第 1 項第 2 號規定的特定傳染病患者時。
- (2) 使用飯店者有下列情形之一時
 - a. 防止暴力集團成員不當行為等相關法律（1991 年法律第 77 號）第 2 條第 2 號規定的暴力集團（以下稱「暴力集團」）、同條第 2 條第 6 號規定的暴力集團成員（以下稱「暴力集團成員」）、暴力集團關係企業和組織相關人員等反社會勢力
 - b. 由暴力集團或暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織
 - c. 公司中的幹部為暴力集團等反社會勢力成員者
- (3) 使用飯店者針對住宿提出脅迫或暴力要求的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時（但住宿旅客依據消除殘障人士歧視法第 7 條第 2 項或第 8 條第 2 項規定，要求消除社會障礙的情況除外）。
- (4) 住宿旅客對於本飯店要求實施的負擔過重，可能明顯妨礙向其他住宿者提供的住宿相關服務，反覆做出旅館業法施行規則第 5 條之 6 規定的行為時

第 6 條 環保活動

1. 為了珍惜使用資源，請協助節約用水用電。

第 7 條 個人資訊

1. 本飯店將按照本飯店的隱私權政策，妥善處理顧客提供的個人資訊。

第 8 條 使用規則的變更

1. 本使用規則屬於民法規定的定型化條款，如果符合住宿旅客的整體利益時，或可認為必要及合理的變更時，將根據民法的規定，變更本使用規則的各項條款。
2. 若本使用規則發生變更時，變更後的規定內容將刊登在網站上，自刊登時指定的生效日起適用於變更後的內容。此外，變更本使用規則時，將以適當的方式公告。

住宿條款

適用範圍

- 第 1 條 本飯店與住宿旅客之間簽訂的住宿契約及其相關契約，均應遵守本條款的規定，本條款未盡事宜，依據法令等（係指法令或基於法令的規定，以下亦同）或一般已確立的慣例。
- 2 本飯店在不違反法令與慣例的範圍內接受特約時，無論前項規定為何，均以該特約為優先。

住宿契約的申請

- 第 2 條 欲向本飯店申請住宿契約者，必須向本飯店提供以下資訊。
- (1) 住宿旅客的姓名及人數
 - (2) 住宿日期及預計抵達時間
 - (3) 住宿費用（原則上依據附表 1 的基本住宿費用）
 - (4) a. 申請人的姓名及聯絡方式
b. 住宿費用的付款人及其聯絡方式
 - (5) 本飯店認為必要的其他事項
- 2 住宿旅客在住宿期間內，要求在前項第 2 項規定的住宿日期之後繼續住宿時，本飯店將在提出該要求的時間點，視為已申請新的住宿契約。

住宿契約的成立等

- 第 3 條 住宿契約在本飯店受理前條的申請時，即告成立。
- 2 依據前項規定，住宿契約成立時，請在本飯店指定的日期之前，以住宿期間（若超過 3 天則為 3 天）的住宿費為上限，支付本飯店規定的申請費。
- 3 申請費將首先用於抵扣住宿旅客最終需要支付的住宿費，如發生適用於第 8 條或第 21 條規定的情況時，按違約金、其次是賠償金的順序進行抵扣，若仍有餘額，將在按照第 15 條的規定繳費時退還。
- 4 未在本飯店依同項規定指定的日期前繳納第 2 項規定的申請費時，住宿契約即喪失其效力。但僅限於在指定支付申請費的日期時，本飯店有告知住宿旅客該主旨的情況。

要求配合設施內的預防傳染措施

- 第 4 條 本飯店可依據旅館業法（1948 年法律大 138 號）第 4 條之 2 第 1 項規定，要求欲住宿旅客的配合。

毋須支付申請費的特約

- 第 5 條 無論有第 3 條第 2 項規定如何，本飯店可能會接受在契約成立後，毋須支付該項規定申請費的特約。

- 2 在同意申請住宿契約之際，本飯店未依第 3 條第 2 項規定要求支付申請費時，或是未指定該申請費的付款日期時，將視為已接受前項特約的方式處理。

拒絕簽訂住宿契約

第 6 條 下列情況本飯店可能會拒絕簽訂住宿契約。但是，本項規定並非表示本飯店可能會在旅館業法第 5 條所列情況以外的情況下拒絕入住。

- (1) 住宿申請不符合本條款的規定時。
- (2) 因滿房而無空房時。
- (3) 發現欲住宿者有可能做出違反住宿相關的法令規定、公共秩序或善良道德的行為時。
- (4) 欲住宿者屬於旅館業法第 4 條之 2 第 1 項第 2 號規定的特定傳染病等患者等時（以下稱「特定傳染病的患者等」）。
- (5) 欲住宿者為防止暴力集團成員不當行為等相關法律（1991 年法律第 77 號）第 2 條第 2 號規定的暴力集團（以下稱「暴力集團」）、同條第 2 條第 6 號規定的暴力集團成員（以下稱「暴力集團成員」）、暴力集團關係企業和組織相關人員等反社會勢力時。
- (6) 欲住宿者為暴力集團或由暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時。
- (7) 欲住宿者為法人，且其幹部屬於暴力集團等反社會勢力成員者時。
- (8) 欲住宿者針對住宿提出脅迫或暴力要求的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時（但欲住宿者依據消除殘障人士歧視法（2016 年法律第 65 號，以下稱「消除殘障人士歧視法」）第 7 條第 2 項或第 8 條第 2 項規定，要求消除社會障礙的情況除外）。
- (9) 欲住宿者對於本飯店要求實施的負擔過重，可能明顯妨礙向其他住宿者提供的住宿相關服務，反覆做出旅館業法施行規則第 5 條之 6 規定的行為時。
- (10) 因天災、設施故障或其他不得已的事由，無法提供住宿時。
- (11) 欲住宿者醉酒等，有可能對其他住宿者明顯造成困擾時、及做出對於住宿者造成明顯困擾的言行時（根據都道府縣（有設置衛生所的市或特別區，則根據該市或特別區）的條例）。

拒絕簽訂住宿契約的說明

第 7 條 欲住宿者可要求本飯店說明，本飯店根據前條規定不同意簽訂住宿契約的理由。

住宿旅客的契約解除權

第 8 條 住宿旅客可向本飯店提出申請，要求解除住宿契約。

- 2 由於應歸責於住宿旅客自身的事由，而解除（依據第 3 條第 2 項規定，本飯店指定申請費的支付日期並要求支付時，在該支付之前，住宿旅客已解除住宿契約的情況除外）全部或局部住宿契約時，本飯店將收取附表第 2 項所列的違約金。但本飯店接受了第 5 條第 1 項特約時，僅限在接受該特約之際，本飯店已向住宿旅客告知解除住宿契約時的違約金支付義務時。
- 3 本飯店在住宿旅客未聯絡，直到住宿日當天晚上 8:00（事先知道預計抵達時間時，則為超過該時間 2 小時的時間）為止仍未抵達時，會將該住宿契約視為已由住宿旅客解除來處理。

本飯店的契約解除權

第 9 條 本飯店在下列情況中可能會解除住宿契約。

但是，本項規定並非表示本飯店可能會在旅館業法第 5 條所列情況以外的情況下拒絕入住。

- (1) 發現住宿旅客有可能做出或已做出違反住宿相關法令規定、公共秩序或善良道德的行為時。
 - (2) 住宿旅客為特定傳染病患者時。
 - (3) 因天災、設施故障或其他不得已的事由，無法提供住宿時。
 - (4) 發現住宿旅客醉酒等可能對於其他住宿旅客造成影響時，或是言行明顯造成其他住宿旅客困擾時。
 - (5) 未遵守本飯店規定使用規則的禁止事項時。
 - (6) 在指定吸菸室和吸菸區域以外的地方吸菸時。
 - (7) 在臥室就寢時吸菸、亂動消防設備等以及不遵守飯店制定使用規則的其他禁止事項（僅限預防火災所需的事項）時。
 - (8) 發現住宿旅客為暴力集團、暴力集團成員、暴力集團相關人員等反社會勢力時。
 - (9) 住宿旅客為暴力集團或由暴力集團成員控制其事業活動的公司及其他組織時。
 - (10) 住宿旅客為法人，而且其幹部屬於暴力集團等反社會勢力成員者時。
 - (11) 住宿旅客針對住宿提出脅迫或暴力要求的行為，或是要求超過合理範圍的負擔時（但欲住宿者根據消除殘障人士歧視法第 7 條第 2 項或第 8 條第 2 項規定，要求消除社會障礙的情況除外）。
 - (12) 由於要求實施的負擔過重，可能明顯妨礙向其他住宿者提供的住宿相關服務，反覆做出旅館業法施行規則第 5 條之 6 規定的行為時。
- 2 本飯店根據前項規定解除住宿契約時，住宿旅客尚未接受提供的住宿服務等，不會向住宿旅客收取費用。

解除住宿契約的說明

第 10 條 本飯店根據前條規定解除住宿契約時，住宿旅客可以要求說明理由。

住宿登記

第 11 條 住宿旅客必須在入住當天，至飯店櫃台登記以下資料。

- (1) 住宿旅客的姓名、住址及聯絡方式
 - (2) 在日本沒有住址的外國人需提供國籍、護照號碼（護照影本或掃描文件）
 - (3) 本飯店認為必要的其他事項
- 2 如果住宿旅客欲使用旅遊支票、住宿券或信用卡等可代替貨幣的方式，支付第 15 條規定的費用時，應在登記時提前出示這些資訊。

客房的使用時間

第 12 條 住宿旅客可以使用飯店客房的時間，請向櫃台查詢。

- 2 無論前項規定如何，本飯店也可能同意在該項規定的時間以外接受客房的使用。屆時將收取以下額外費用。
- (1) 下午 3:00 之前的超時使用費，收取基本住宿費的 30%
 - (2) 下午 6:00 之前，收取基本住宿費的 50%
 - (3) 下午 6:00 之後，收取基本住宿費的全額。

使用規則的遵守

第 13 條 住宿旅客在本飯店內應遵守本飯店另行制定的使用規則。

營業時間

第 14 條 本飯店的主要設施營業時間如下，其他設施的詳細營業時間，將在網站及各個地點公布。

- (1) 櫃台、收銀等的服務時間
 - a) 門禁……………無
 - b) 櫃檯服務……………24 小時
- 2 餐飲等（設施）的服務時間：將在網站及各個地點公布。
- 3 前項所列時間，如有必要時可能會臨時變更。屆時將以適當的方式進行公告。

費用的支付

第 15 條 住宿旅客應支付的住宿費等詳細內容，請見附表 1。

- 2 前項規定的住宿費等支付，以貨幣或本飯店認可的旅行支票、住宿券、信用卡等其他方式，在旅客抵達或出發時，或是接獲本飯店請款時，至櫃台支付。
- 3 本飯店已向住宿旅客提供客房，並且客房呈可以使用的狀態之後，若住宿旅客尚未入住，仍將收取住宿費。

本飯店的責任

第 16 條 本飯店在履行住宿契約及其相關契約時，或是由於未履行而對住宿旅客造成損害時，除本飯店故意或有重大過失情節外，應負擔賠償責任並以 15 萬日圓為上限。但不應歸責於本飯店的因素所造成的損害，則不在此限。

- 2 本飯店為了因應火災等，有投保旅館賠償責任保險。

無法提供簽約客房時的處理方式

第 17 條 本飯店無法提供住宿旅客簽約的客房時，將在徵得旅客同意之後，盡可能安排其他同等條件的住宿設施。

- 2 無論前項定如何，本飯店無法安排其他住宿設施時，應向住宿旅客支付相當於違約金額的補償費，並以該補償費作為損害賠償金額。但若非應歸於飯店的事由，無法提供客房時，不支付補償費。

寄存物品的處理

第 18 條 住宿旅客在櫃台寄存的物品或現金及貴重物品，發生遺失或破損等的損失時，除因不可抗力造成的情形外，本飯店將負責賠償該損失。但關於現金和貴重物品，本飯店要求住宿旅客申報該物品的種類和價值，而旅客未申報時，本飯店負擔的該筆損失賠償責任將以 15 萬日圓為上限。

- 2 因本飯店故意或過失，導致住宿旅客帶入本飯店未寄存在櫃台的物品、現金或貴重物品發生遺失或破損等的損失時，本飯店將賠償該筆損失。但關於住宿旅客未事先告知其種類和價值的物品，除非本飯店有故意或重大過失，否則本飯店將以 15 萬日圓作為該筆損失的賠償上限。

住宿旅客行李或個人物品的寄存

第 19 條 如果住宿旅客的行李在入住之前先送達飯店時，僅限本飯店已事先知道該送達事宜時將負責保管，並在住宿旅客於櫃台辦理入住手續時交付行李。

- 2 住宿旅客退房後行李或個人物品遺忘在飯店時，本飯店在保管 7 天（包括發現當日在內）之後，將移交至最近的警察局。但關於小件物品（日常生活用品之類）等，可判斷為旅客已放棄其所有權的部分，將在保管 3 個月後（包括取得當日在內）進行處理。

此外，遺忘的物品是食物或難以儲存的物品時，可能會直接丟棄。

- 3 在前 2 項的情況中，本飯店保管住宿旅客的行李或個人物品的責任，如為第 1 項的情況時，將依照前條第 1 項規定辦理；如為前項的情況時，則以該條第 2 項規定為準。

停車責任

第 20 條 住宿旅客使用本飯店的停車場或簽約停車場時，無論是否有寄放車輛的鑰匙，本飯店皆為出借場地方，恕不承擔車輛的管理責任。但管理停車場時，若因於本飯店故意或過失造成損失，本飯店將承擔該筆賠償責任。

住宿旅客的責任

第 21 條 因住宿旅客的故意或過失造成飯店損失時，住宿旅客應向本飯店賠償該筆損失。

個人資訊

第 22 條 本飯店將依照本飯店的個人資料保護方針，妥善處理旅客提供的個人資訊。

條款的變更

第 23 條 本條款屬於民法規定的定型化條款，如果符合住宿旅客的整體利益時，或可認定為必要及合理的變更時，將根據民法的規定，變更本條款的各項條款。

- 2 本條款發生變更時，變更後的規定內容將刊登在網站上，自刊登時所指定的生效日起適用於變更後的內容。此外變更本條款時，將以適當的方式公告記載變更的內容等。
- 3 如果您在本條款變更之前進行預訂，但住宿日期是在變更日期之後時，則以入住日當時的條款為準。

附表 1 住宿費用等的明細（與第 2 條第 1 項及第 15 條第 1 項有關）

明細		
住宿旅客應支付的總額	住宿費用	1. 基本住宿費用
		2. 服務費（若有設定時）
	額外費用	3. 餐飲費用（服務費除外）以及其他費用
		4. 客房服務（若有提供時）
		5. 服務費（若有設定時）
	稅金	6. 消費稅等

附表 2 違約金（與第 8 條第 2 項有關）

申請訂鑷人數		接獲解除契約通知之日					
		當天 (含未入住)	前 1 天	2 天前	3 天前	7 天前	14 天前
一般	9 人	100%	15:00 後 100%	0%			
團體	10~60 人	100%		50%		20%	0%
	61 人以上	100%		80%		50%	20%

註

1. %是指違約金相對於訂房時住宿費（包括服務費、消費稅等）的比例。
2. 如果住宿套餐方案等另行規定違約金時，則按照該公告金額作為違約金收取。
3. 若縮短契約天數時，無論縮短多少天，均將收取一天份（第一天）的違約金。
4. 有局部團體旅客（10 人以上）解除契約時，針對住宿日 10 天前（當天之後才接獲申請時，則指接受申請的日期）住宿人數的 10%（若有小數則四捨五入）部分，不收取違約金。
5. 關於透過各家旅行社訂房的取消事宜，依照代辦旅行社的規定辦理。

2024 年 6 月

2024 年 6 月 由於酒店業法的修改，以下事項將被追加、變更。

- 要求配合設施內的預防傳染措施
- 拒絕簽訂住宿契約
- 住宿旅客的契約解除權
- 本飯店的契約解除權
- 解除住宿契約的說明

使用规则

为了让您住得安全舒适，本酒店根据住宿条款第 13 条，制定如下使用规则。若您不能遵守本使用规则，我们将依据住宿条款第 9 条，谢绝您住宿或使用酒店内的各种设施。请您特别注意，因您不能遵守本使用规则而发生的事故，将可能由您承担损失。

第 1 条 安全、保安事项

1. 各客房门内侧贴有从该房间出发的“消防疏散示意图”，请确认。
2. 请勿将取暖、做饭等的盛火器具以及其他会引起火灾的物品带入房间。
3. 我们坚决谢绝在指定的吸烟室和吸烟场所以外的场所吸烟。请勿作出其他可能引起火灾的行为。经确认在禁烟客房内吸烟（包括电子烟）以及带入烟头等，我们可能会收取寝具、窗帘和墙纸等的清洁费以及其他维修等所需的费用，敬请谅解。
4. 为了干燥湿衣服和毛巾等而将其放在灯具上或挂在灯罩上，会引起火灾。非常危险，请绝对不要尝试。
5. 在您入住期间，出房间时，请务必确认上锁。
6. 特别是在就寝期间，请锁好内锁并拉上搭扣。有人敲门时请通过猫眼进行确认，不要轻易开门。万一怀疑是可疑人员，请您与前台联系。
7. 请您注意，往浴缸放热水或往洗脸盆中放水时，若因假寐以及其他原因而一直打开龙头，会导致热水及冷水溢出，引发严重的漏水事故。
8. 请勿与外来客人在客房内会面。
9. 坚决谢绝非住宿登记人员住宿。
10. 请开车的客人在规定的停车场停车。
11. 本酒店客人使用停车场时，不论是否寄存车辆钥匙，我们不承担车辆管理责任。

第 2 条 关于贵重物品、遗失物品的处理

1. 请将您在入住期间的现金、贵重物品寄存在室内保险柜或前台。
使用室内保险柜时，请自行进行柜门的上锁设置。未实施上述手续，并因现金、贵重物品灭失、丢失、毁损、失窃等产生损失时，我们不予赔偿，敬请谅解。
2. 客人退房后，客人行李或携带品遗忘在本酒店的，包括发现之日在内，本酒店保管 7 天，之后交给就近的公安局。但如果是视作客人放弃持有的轻微物品（日常生活品等），包括取得日在内，我们将保管 3 个月后处置。此外，遗失物品是食品或难以保管管理的，我们可能予以销毁。

第 3 条 结账

1. 费用以货币或本酒店认可的旅行支票、住宿券、信用卡等方式进行支付。我们拒绝非住宿客人的货币兑换，敬请谅解。
2. 更改原定的住宿天数时，请预先与前台工作人员联系。延长住宿天数时，请支付当前所有费用和追加的预计费用明细。
3. 若您签字使用酒店内的餐馆、酒吧等，请务必出示住宿卡或房间钥匙。我们可能会谢绝签字使用。
4. 您到达酒店时，我们可能会收取押金，敬请谅解。此外，在您入住期间，若前台向您出示帐单，请每次到前台结账。
5. 我们谢绝垫付购物款、票款、打车费、邮票费、行李运费等。
6. 住宿费和餐饮费用中可能会加上服务费。谢绝给员工的小费。
7. 您在使用房间电话时，将加上设施使用费。

第 4 条 禁止事项

1. 禁止以下行为：
 - (1) 将下列打扰其他客人的东西带入酒店内：
 - a. 所有动物和宠物类，如狗、猫、小鸟等（法律规定的协助犬除外，或依据本酒店另行制定的宠物同行住宿同意书，则可）；
 - b. 易着火或引燃的炸药、挥发油类以及危险制品；
 - c. 发出恶臭和强烈气味的物品；
 - d. 无许可证的枪、刀械；
 - e. 明显大量的行李和物品；
 - f. 其他影响其他客人的物品；
 - g. 其他法律禁止持有的物品。
 - (2) 在酒店内赌博、扰乱社会风气和治安的行为、影响其他客人的行为、使其他客人产生不快的行为。
 - (3) 将有损酒店外观的物品挂在房间窗子上的行为、或摆放在窗边的行为。
 - (4) 未经本酒店许可，使用本酒店进行在房间或大厅营业等住宿以外的行为。
 - (5) 未经许可在酒店内传播广告、宣传物及销售物品。
 - (6) 在酒店内将设施和设备用于非规定场所和用途，明显有损现状。
 - (7) 未经许可将酒店场地内拍摄的照片等出于商业目的公开的行为。
 - (8) 在走廊和大厅放置您的持有物品。
 - (9) 穿着家居服、睡衣、浴衣、拖鞋等走出营业设施。
 - (10) 非紧急事件或不得已的情况进入酒店员工区域、疏散楼梯、屋顶、阁楼、机房等。
 - (11) 来自酒店外部的外卖餐饮（但酒店合作的餐饮店等则可）。
 - (12) 对酒店建筑物、家具、设备、其他物品的损坏、污染或丢失行为。

- (13) 发送损害酒店信用或酒店名誉的内容信息的行为。信息发送中的帖子等违反法律法规，本酒店认为不当时，我们将不经同意而进行删除。此外，请勿发送诽谤中伤第三者的内容。
 - (14) 在吸烟室、吸烟场所以外的场所吸烟（包括电子烟等）。
 - (15) 其他法律法规禁止的行为。
2. 作出前款禁止行为，给本酒店造成损失的，您将可能偿付相应款项。

第 5 条 酒店使用合同的解除

属于下列情况的，请勿使用本酒店。

此外，签订预约和合同后，发现该事实的，我们将在发现时解除预约和合同。但本款并不表示本酒店

(楼) 在旅馆业法第 5 条所列情况以外的情况下可能拒绝住宿：

- (1) 酒店用户是旅馆业法第 4 条之 2 第 1 款第 2 项规定的特定传染病患者等。
- (2) 酒店用户中有符合以下情形的人：
 - a. 关于防止反黑社会性质组织成员不正当行为等的法律（1991 年法律第 77 号）第 2 条第 2 项规定的黑社会性质组织（下称“黑社会性质组织”）、该条第 2 条第 6 项规定的黑社会性质组织成员（下称“黑社会性质组织成员”）、黑社会性质组织关联企业 and 团体的涉及者等反社会势力；
 - b. 由黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体；
 - c. 其董事会成员有符合黑社会性质组织等反社会势力的人的法人。
- (3) 酒店用户在住宿方面作出高压或暴力要求行为，或要求超出合理范围的负担（但住客要求根据消除残疾人歧视法第 7 条第 2 款或第 8 条第 2 款的规定消除社会壁垒的除外）
- (4) 住客向本酒店反复提出旅馆业法施行规则第 5 条之 6 规定的要求，其执行造成的负担过重，可能明显阻碍向其他房客提供住宿服务。

第 6 条 绿色活动

- 1. 为了珍惜资源，请配合节电、节水。

第 7 条 个人信息

- 1. 本酒店对于客人提供的个人信息，将根据本酒店的隐私政策妥善处理。

第 8 条 使用规则的变更

- 1. 本使用规则符合民法规定的格式条款，符合住客的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我们将根据民法的规定变更本使用规则各条款。
- 2. 本使用规则变更的，变更后的规定内容将刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本使用规则时，我们会以适当的方式将变更内容等公之于众。

住宿条款

适用范围

- 第 1 条 本酒店与住客签订的住宿合同以及相关的合同，应依本条款的约定，本条款未尽事宜，应依据法律法规等（指法律法规或法律法规下的，下同）或公认的习惯。
2. 本酒店在不违反法律法规和习惯的范围内响应特别约定的，虽有前款规定，应以该特别约定为准。

住宿合同的要约

- 第 2 条 欲向本酒店发出住宿合同要约的人士，向本酒店提出以下事项：
- (1) 房客姓名及住宿人数；
 - (2) 住宿日及预计到达时间；
 - (3) 住宿费用（原则上依附表第 1 的基本住宿费用）；
 - (4) a. 要约人姓名及其联系方式；
b. 住宿费用的支付者及其联系方式。
 - (5) 其他本酒店认为需要的事项。
2. 住客在住宿过程中超过前款第 2 项的住宿日提出继续住宿的，本酒店视为在其提出之时有了新的住宿合同的要约。

住宿合同的成立等

- 第 3 条 本酒店对前条之要约作出承诺时，住宿合同成立。
2. 根据前款的规定，住宿合同成立的，您将在本酒店指定的日期之前支付以住宿期间（超过 3 天的为 3 天）的住宿费用为限度而由本酒店规定的要约金。
3. 要约金首先用于住客最终应支付的住宿费用，发生适用第 8 条或第 21 条之规定的事件时，按照违约金、赔偿金的顺序使用，若有余额，在根据第 15 条之规定支付费用时退还。
4. 若不能根据该款的规定在本酒店指定的日期之前支付第 2 款的要约金，则住宿合同失效。但仅限于指定要约金的支付日期时，本酒店已将其告知住客的情形。

要求配合在设施采取感染预防措施

- 第 4 条 本酒店可要求欲住宿的人员根据旅馆业法（1948 年法律第 138 号）第 4 条之 2 第 1 款的规定予以配合。

无需支付要约金的特别约定

第 5 条 虽有第 3 条第 2 款的规定，本酒店可能响应合同成立后无需支付该款的要约金的特别约定。

2. 对住宿合同的要约作出承诺时，本酒店未要求支付第 3 条第 2 款的要约金以及未指定该要约金的支付日期的，我们将视为已响应前款的特别约定。

拒绝签订住宿合同

第 6 条 下列情况下，本酒店可能拒绝住宿合同的签订，但本款并不表示本酒店在旅馆业法第 5 条所列情况以外的情况下可能拒绝住宿：

- (1) 住宿的要约不依据本条款；
- (2) 因客房已满而无空余客房；
- (3) 欲住宿的人员被认为在住宿方面可能作出违反法律法规的规定、公共秩序或善良风俗的行为；
- (4) 欲住宿的人员是旅馆业法第 4 条之 2 第 1 款第 2 项规定的特定传染病患者等（下称“特定传染病患者等”）；
- (5) 欲住宿的人员是关于防止反黑社会性质组织成员不正当行为等的法律（1991 年法律第 77 号）第 2 条第 2 项规定的黑社会性质组织（下称“黑社会性质组织”）、该条第 2 条第 6 项规定的黑社会性质组织成员（下称“黑社会性质组织成员”）、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会势力；
- (6) 欲住宿的人员是黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体；
- (7) 欲住宿的人员是法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织等反社会组织的人；
- (8) 欲住宿的人员在住宿方面作出高压或暴力要求行为，或要求超出合理范围的负担（但要求根据关于推进消除欲住宿的人员以残疾为的歧视的法律（2016 年法律第 65 号，下称“消除残疾人歧视法”）第 7 条第 2 款或第 8 条第 2 款的规定消除社会壁垒的除外）
- (9) 欲住宿的人员向本酒店反复提出旅馆业法施行规则第 5 条之 6 规定的要求，其执行造成的负担过重，可能明显阻碍向其他房客提供住宿服务；
- (10) 因天灾、设施的故障以及其他不得已的原因而无法安排住宿。
- (11) 欲住宿的人员因醉酒等等，可能明显影响其他房客，以及作出明显影响房客的言行（根据都道府县（设置保健所的市或特别区的，为市或特别区）的条例）。

拒绝签订住宿合同的说明

第 7 条 本酒店根据前条拒绝签订住宿合同的，欲住宿的人员可要求本酒店说明其原因。

住客的合同解除权

第 8 条 住客可向本酒店提出，解除住宿合同。

2. 住客因可归责于其原因而全部或部分地解除住宿合同的（根据第 3 条第 2 款的规定本酒店指定要约金的支付日期要求其支付时，通过该支付，在前住客已解除住宿合同的除外），本酒店将根据附表第 2 款所列收取违约金。但仅限于本酒店响应第 5 条第 1 款的特别约定，响应其特别约定时，对于住客已解除住宿合同的违约金支付义务，本酒店已告知住客的情况。
3. 住客未联系而在住宿日当天下午 8 点（已预先表明预计到达时间的，则为经过该时间两小时的时间）仍不到达的，本酒店可能视为该住宿合同已由住客解除。

本酒店的合同解除权

第 9 条 下列情况下，本酒店可能解除住宿合同。

但本款并不表示本酒店在旅馆业法第 5 条所列情况以外的情况下可能拒绝住宿：

- (1) 住客在住宿方面被认为可能作出违反法律法规的规定、公共秩序或善良风俗的行为的，或被认为已作出该行为的；
 - (2) 住客是特定传染病患者；
 - (3) 因天灾、设施的故障等以及其他不得已的原因而无法安排住宿；
 - (4) 住客因醉酒等而被认为可能影响其他房客，或者房客作出明显影响其他房客的言行；
 - (5) 不服从本酒店制定的使用规则的禁止事项；
 - (6) 在指定的吸烟室、吸烟场所以外的场所吸烟；
 - (7) 在卧室床上吸烟、恶意破坏消防设备等以及其他不服从本酒店制定的使用规则的禁止事项（仅限于火灾预防上所需的）；
 - (8) 认定住客是黑社会性质组织、黑社会性质组织成员、黑社会性质组织关联企业和团体的涉及者等反社会势力；
 - (9) 住客是黑社会性质组织或黑社会性质组织成员控制商业活动的法人以及其他团体；
 - (10) 住客是法人，其董事会成员中有符合黑社会性质组织成员的人；
 - (11) 住客在住宿方面作出高压或暴力要求行为，或要求超出合理范围的负担（但住客要求根据消除残疾人歧视法第 7 条第 2 款或第 8 条第 2 款的规定消除社会壁垒的除外）；
 - (12) 反复提出旅馆业法施行规则第 5 条之 6 规定的要求，其执行造成的负担过重，可能明显阻碍向其他房客提供住宿服务。
2. 本酒店根据前款的规定解除住宿合同，将不收取住客尚未享受的住宿服务等费用。

解除住宿合同的说明

第 10 条 本酒店根据前条解除住宿合同的，住客可要求本酒店说明其原因。

住宿的登记

第 11 条 住客于住宿日当天在本酒店的前台登记以下事项：

- (1) 住客的姓名、住所及联系方式；
 - (2) 若是在日本国内没有住所的外国人，则登记国籍、护照号（护照复印件或扫描件）。
 - (3) 其他本酒店认为需要的事项。
2. 住客欲以旅行支票、住宿券、信用卡等代替货币的方式支付第 15 条之费用的，预先在前款的登记时出示。

客房的使用时间

第 12 条 请向前台确认住客可使用本酒店客房的时间。

2. 虽有前款规定，本酒店可能响应该款规定的超时使用客房。此情况下，将收取下列额外费用：
- (1) 超过下午 3 点之前，基本住宿费用的 30%
 - (2) 下午 6 点之前，基本住宿费用的 50%
 - (3) 下午 6 点以后，基本住宿费用全额。

使用规则的遵守

第 13 条 住客在本酒店内遵守本酒店另行制定的使用规则。

营业时间

第 14 条 本酒店主要设施等的营业时间如下，其他设施等的详细营业时间，我们将在网站、各处等介绍：

- (1) 前台、收银台等服务时间
 - a) 门禁……………无
 - b) 前台服务……………24 小时
2. 餐饮等（设施）服务时间：我们将在网站、各处介绍。
3. 前款的时间可能在需要以及不得已的情况下临时变更。此情况下，我们将以适当的方式通知。

费用的支付

第 15 条 住客应支付的住宿费用等细目，依附表第 1 所列。

2. 前款住宿费用等的支付，以货币或本酒店认可的旅行支票、住宿券、信用卡等可代替的方式，在住客到达或出发时或本酒店收取时，在前台进行。
3. 本酒店向住客提供客房，可使用后，即使住客未住宿，也将收取住宿费用。

本酒店的责任

第 16 条 履行住宿合同以及相关的合同时或因不履行而给住客造成损失的，除去本酒店有故意或重大过失的，本酒店以 15 万日元为限赔偿其损失。但其非因归责于本酒店的原因的，不在此限。

2. 本酒店已投保旅馆赔偿责任险，以防万一发生火灾等。

无法提供签约客房时的处理

第 17 条 本酒店无法向住客提供签约客房的，经住客同意，尽量按相同条件调剂其他住宿设施。

2. 虽有前款规定，无法调剂其他住宿设施的，本酒店向住客支付相当于违约金的补偿费，以该补偿费作为损失赔偿额。但无法提供客房没有可归责于本酒店的原因的，不支付补偿费。

寄存物品等的处理

第 18 条 住客寄存在前台的物品或现金以及贵重物品发生灭失、毁损等损失的，除其为不可抗力外，本酒店赔偿其损失。但关于现金和贵重物品，本酒店要求明告其种类和价格时，住客未进行明告的，本酒店以 15 万日元为限赔偿其损失。

2. 住客带入本酒店的物品或现金以及贵重物品，其未寄存在前台，因本酒店的故意或过失而发生灭失、毁损等损失的，本酒店赔偿其损失。但住客预先未明告种类和价格的，除本酒店有故意或重大过失外，本酒店以 15 万日元为限度赔偿其损失。

住客的行李或携带品的保管

第 19 条 住客的行李在住宿之前到达本酒店的，仅限于其到达前本酒店同意时负责保管，并在住客于前台办理入住手续时交出。

2. 住客退房后，住客的行李或携带品遗忘在本酒店的，包括发现之日在内，由本酒店保管 7 天，之后将送往就近的公安局。但如果是视作客人放弃持有的轻微物品（日常生活品等），包括取得日在内，我们将保管 3 个月后处置。

此外，遗失物品是食品或难以保管管理的，我们可能予以销毁。

3. 前两款情况下本酒店保管住客行李或携带品的责任，第 1 款依照前条第 1 款的规定，前款依照该条第 2 款的规定。

停车的责任

第 20 条 住客使用本酒店的停车场或签约停车场的，不论是否寄存车辆钥匙，本酒店借出场所，不承担车辆的管理责任。但管理停车场时，因本酒店的故意或过失而造成损失的，负责其赔偿。

住客的责任

第 21 条 因住客的故意或过失致使本酒店蒙受损失的，该住客对本酒店赔偿其损失。

个人信息

第 22 条 本酒店对于客人提供的个人信息，将根据本酒店的隐私政策妥善处理。

条款的变更

第 23 条 本条款符合民法规定的格式条款，符合住客的一般利益或认为有变更的必要性和相当性的，我们将根据民法的规定变更本条款各条款。

2. 本条款变更的，变更后的规定内容将刊登在网站上，自刊登时规定的生效日起适用变更后的内容。变更本条款时，我们会以适当的方式将变更内容等公之于众。
3. 本条款变更以前预约，其住宿日在条款变更日以后的，应依照住宿日时点的条款。

附表第 1 住宿费用等的细目（第 2 条第 1 款及第 15 条第 1 款相关）

细目		
房客应付总额	住宿费用	1. 基本住宿费用
		2. 服务费（如有设置）
	额外费用	3. 餐饮费用（不含服务费）以及其他费用
		4. 房间服务（如有提供）
		5. 服务费（如有设置）
	税金	6. 消费税等

附表第 2 违约金（第 8 条第 2 款相关）

预约要约人数		收到合同解除通知之日						
		当天 (包括不住宿)	上一天	2 天前	3 天前	7 天前	14 天前	1 个月前
一般	9 名及以下	100%	15 时以后 100%	0%				
团队	10~60 名	100%		50%		20%	0%	
	61 名及以上	100%		80%		50%	20%	

注：

1. %为违约金与预约时的住宿费用（包括服务费、消费税等）的比例。
2. 住宿包等另行设置有违约金的，收取其公布金额作为违约金。
3. 合同天数缩短的，不论其缩短天数，我们将收取 1 天（第一天）的违约金。
4. 团队（10 名以上）的一部分解除合同的，住宿的 10 天前（该日之后我们接受要约的，则为接受之日）人数相当于住宿人数的 10%（出现尾数的，进到个位）的，不收取违约金。
5. 各旅行公司的要约的取消，应依照发出要约的旅行公司的规定。

2024 年 6 月

2024年6月 由于酒店业法的修改, 以下事项将被追加、变更。

- 要求配合设施内的预防传染措施
- 拒绝签订住宿契约
- 住宿旅客的契约解除权
- 本饭店的契约解除权
- 解除住宿合同的说明